

西鍵屋橋他2橋補修工事 図面目次

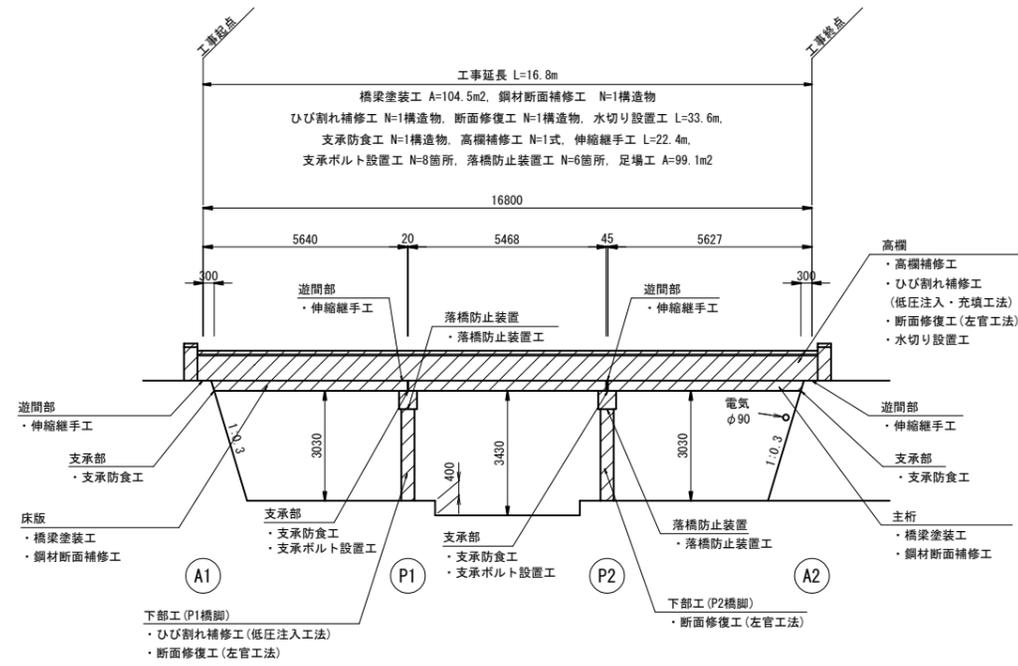
図 面 名	図面番号	枚数	備考
西鍵屋橋 補 修 一 般 図	1	1	
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (1)	2	1	橋梁塗装工
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (2)	3	1	鋼材断面補修工(1)
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (3)	4	1	鋼材断面補修工(2)
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (4)	5	1	断面修復工・ひび割れ補修工(1径間 P1橋脚)
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (5)	6	1	断面修復工・ひび割れ補修工(1径間 橋面)
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (6)	7	1	断面修復工・ひび割れ補修工(2径間 P2橋脚)
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (7)	8	1	断面修復工・ひび割れ補修工(2径間 橋面)
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (8)	9	1	断面修復工・ひび割れ補修工(3径間 橋面)
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (9)	10	1	水切り設置工
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (10)	11	1	支承防食工(1)
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (11)	12	1	支承防食工(2)
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (12)	13	1	高欄補修工
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (13)	14	1	伸縮継手工
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (14)	15	1	落橋防止装置工
西鍵屋橋 補 修 詳 細 図 (15)	16	1	支承ボルト設置工
西鍵屋橋 <参考図>西鍵屋橋 吊足場一般図	17	1	
平戸橋 補 修 一 般 図	18	1	
平戸橋 補 修 詳 細 図 (1)	19	1	橋梁塗装工(1)
平戸橋 補 修 詳 細 図 (2)	20	1	橋梁塗装工(2)
平戸橋 補 修 詳 細 図 (3)	21	1	当て板補修工(1)
平戸橋 補 修 詳 細 図 (4)	22	1	当て板補修工(2)
平戸橋 補 修 詳 細 図 (5)	23	1	断面修復工・ひび割れ補修工(桁下)
平戸橋 補 修 詳 細 図 (6)	24	1	断面修復工・ひび割れ補修工(下部工)
平戸橋 補 修 詳 細 図 (7)	25	1	水切り設置工

西鍵屋橋他2橋補修工事 図面目次

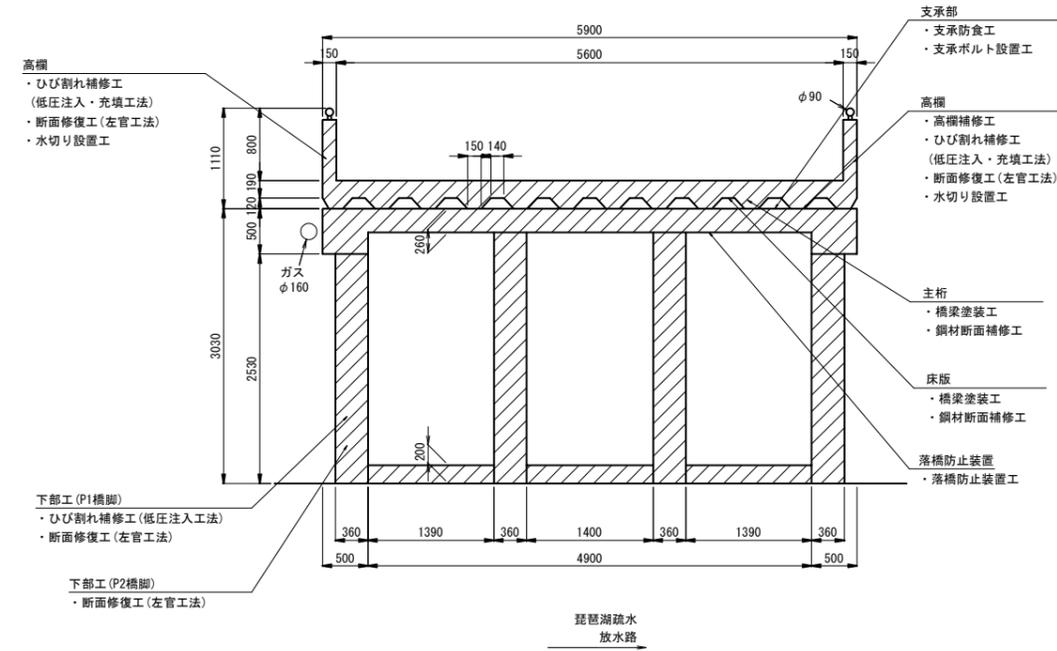
図 面 名	図面番号	枚数	備考
平戸橋 補修詳細図 (8)	26	1	沓隠し打換え工
平戸橋 補修詳細図 (9)	27	1	支承防食工・橋座部排水改良工(1)
平戸橋 補修詳細図 (10)	28	1	支承防食工・橋座部排水改良工(2)
平戸橋 補修詳細図 (11)	29	1	沓座モルタル補修工
平戸橋 <参考図>平戸橋吊足場一般図	30	1	
早稲尾橋 補修一般図	31	1	
早稲尾橋 補修詳細図	32	1	

西鍵屋橋 補修一般図

側面図 S=1/100

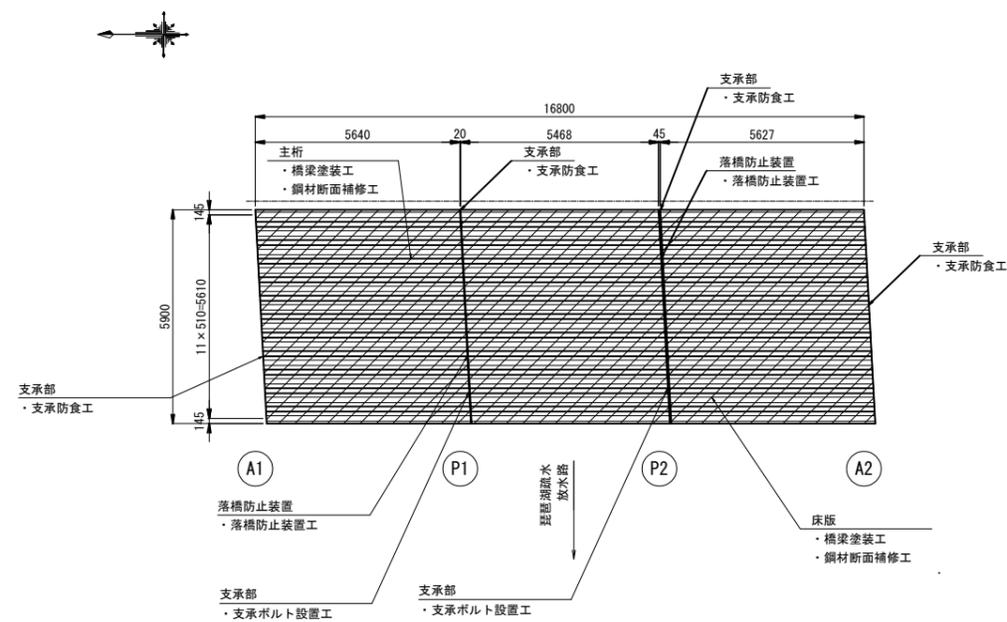


断面図 S=1/40

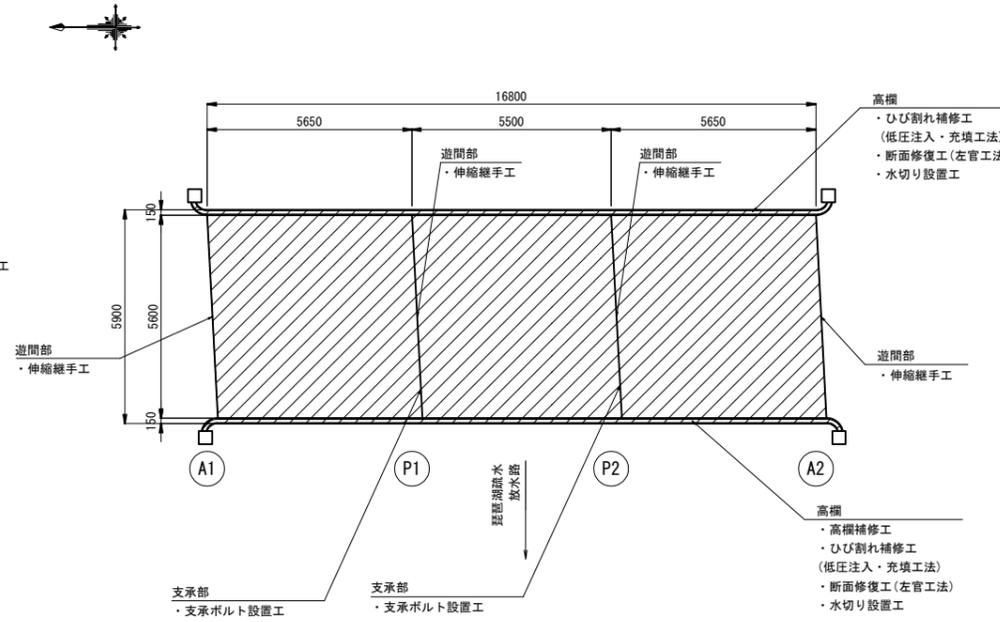


平面図 S=1/100

桁下面



橋面



橋梁諸元	
橋梁形式	RCT桁橋 (3連)
適用示方書	大正8年道路構造令 (推定)
設計荷重	不明
橋長	16.800 m
桁長	5.640 m, 5.468 m, 5.627 m
全幅員	5.900 m
有効幅員	5.600 m
下部工形式	石積み・レンガ製 (A1, A2)、 二層ラーメン橋脚 (P1, P2)
基礎形式	不明 (A1, A2)、杭基礎 (P1, P2)
竣工年月	1925年 (大正14年)

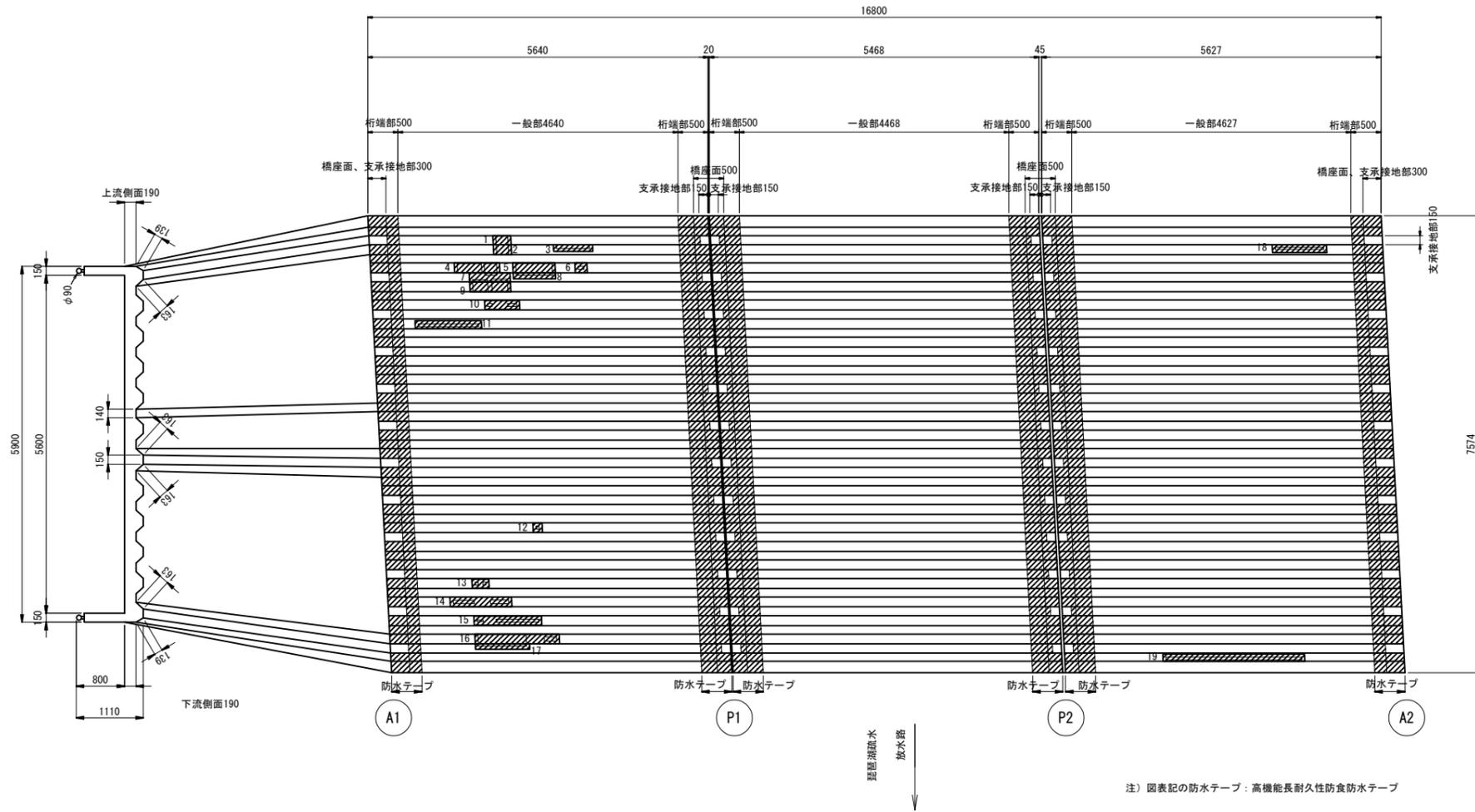
〰〰〰 本工事施工箇所

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修一般図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	1 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

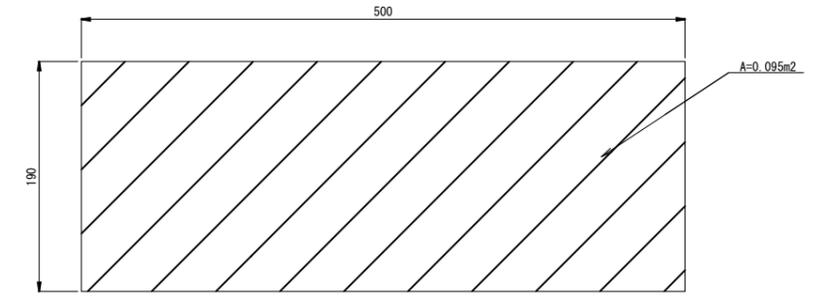
西鍵屋橋 補修詳細図(2)

鋼材断面補修工(1)

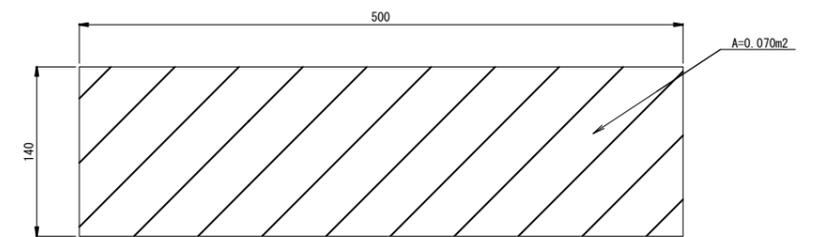
施工位置図 S=1/50



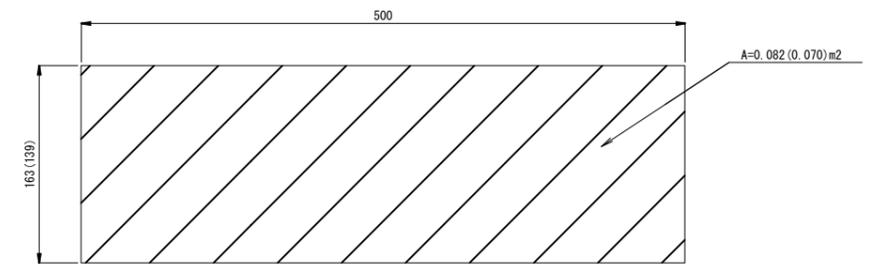
【上下流側面】 S=1/3



【上フランジ】 S=1/3

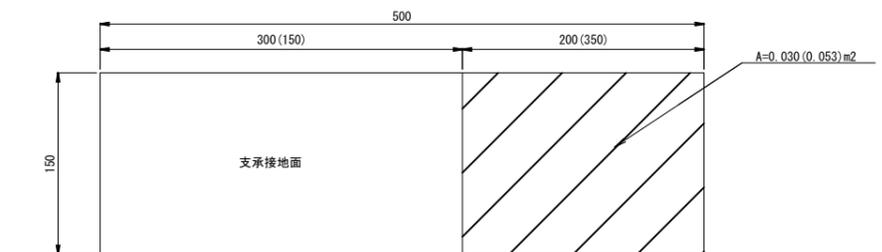


【ウェブ】 S=1/3



注) 〇内は上下流端部のウェブ寸法及びシート面積。

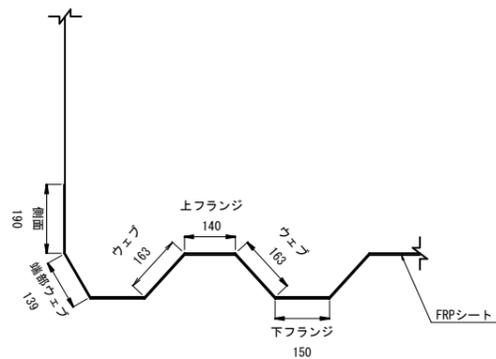
【下フランジ】 S=1/3



注) 〇内はP1, P2の支承接地面寸法及びシート面積。
注) 施工箇所は直射日光が当たらないため、紫外線照射装置を用いてシートを硬化させること。

〰 本工事施工箇所

デッキプレート詳細図



注) 下フランジと支承との接地面は施工面積から除く。

鋼材断面補修工 (高機能長耐久性防食防水テープ)

細別	内訳	数量		
		面積(m²)	枚数	合計(m²)
鋼材断面補修工	上下流側面	0.095	12	1.140
	上フランジ	0.070	66	4.620
	上下流端部のウェブ	0.070	12	0.840
	上下流端部以外のウェブ	0.082	132	10.824
	橋台(A1, A2)下フランジ	0.030	24	0.720
	橋脚(P1, P2)下フランジ	0.053	48	2.544
合計				20.688

鋼材断面補修工 (紫外線硬化型ポリエステル製FRPシート)

No	幅(m)	長さ(m)	面積(m²)	区分
1	0.150	0.300	0.045	A
2	0.163	0.300	0.049	A
3	0.110	0.650	0.072	B
4	0.163	0.750	0.122	B
5	0.163	0.700	0.114	B
6	0.163	0.200	0.033	A
7	0.150	0.675	0.101	B
8	0.100	0.700	0.070	B
9	0.163	0.675	0.110	B
10	0.150	0.580	0.087	B
11	0.130	1.100	0.143	B
12	0.150	0.150	0.023	A
13	0.150	0.280	0.042	A
14	0.100	1.020	0.102	B
15	0.150	1.120	0.168	C
16	0.163	1.400	0.228	C
17	0.090	0.900	0.081	B
18	0.130	0.900	0.117	B
19	0.120	2.350	0.282	C
合計			1.989	

区分	合計(m²)
A	0.192
B	1.119
C	0.678

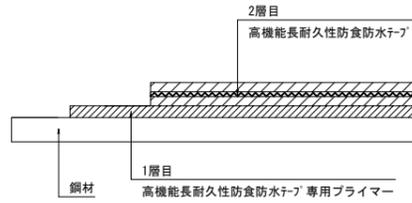
注) 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行ったうえで最終数量を決定すること。

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(2)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	3 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

西鍵屋橋 補修詳細図(3)

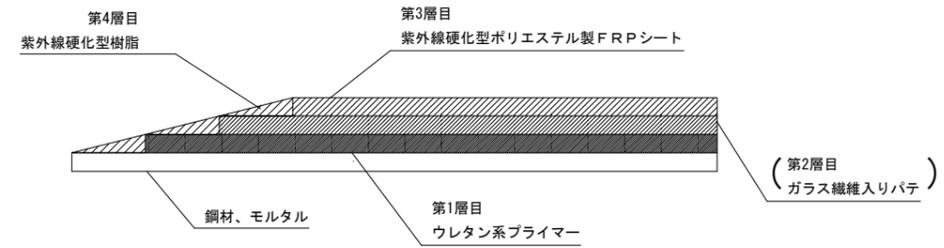
鋼材断面補修工(2)

高機能長耐久性防食防水テープ 断面図

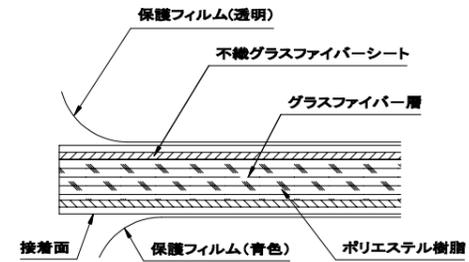


1. 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行ったうえで最終数量を決定すること。
2. 高機能長耐久性防食防水テープはULTRA-WAX-TAPE同等品以上とする。
3. シートの貼り代として50mmを確保すること。
4. ボルト部は別途150×150サイズを貼り付けること。
5. 貼り代が橋座面範囲に収まらない場合は、バラベット面もしくは梁部側面に折り返して施工する。
6. P1橋脚の遊間部は両側の支承から25mmづつTAPEを貼り付け、重なるようにする。

紫外線硬化型ポリエステル製FRPシート



紫外線硬化型ポリエステル製FRPシート内部構造



注記

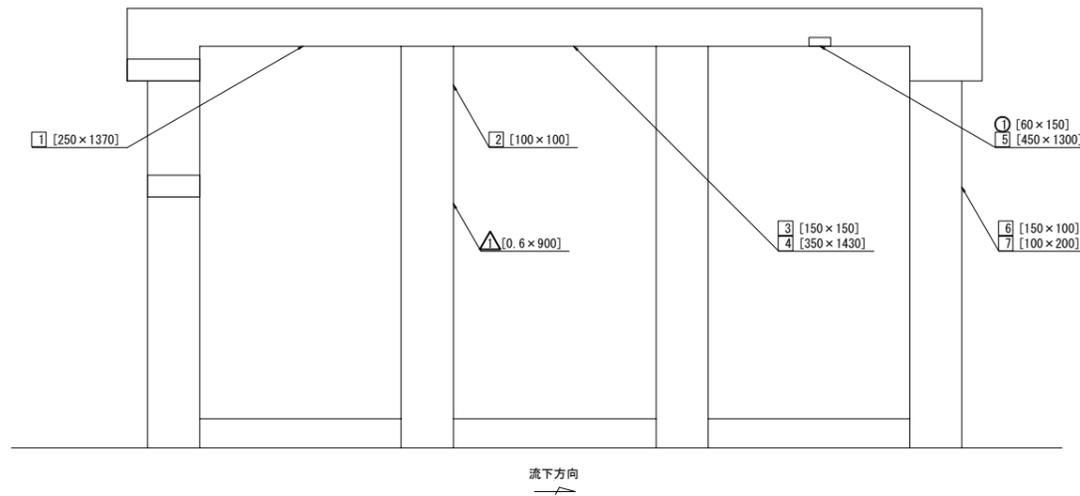
1. FRPシートを貼付ける既設鋼材部には1種ケレンを施す。
2. 鋼板取付け面およびFRPシート貼付け面において、不陸や凹凸面がある場合はFRPパテにより表面整形した上で施工するものとする。
3. 支障物により標準通りの施工が難しい場合は、発注者と協議の上、施工方法等の変更を行うこと。
4. 部材寸法等は、現地検測の上決定すること。

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(3)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	—	図面番号	4 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

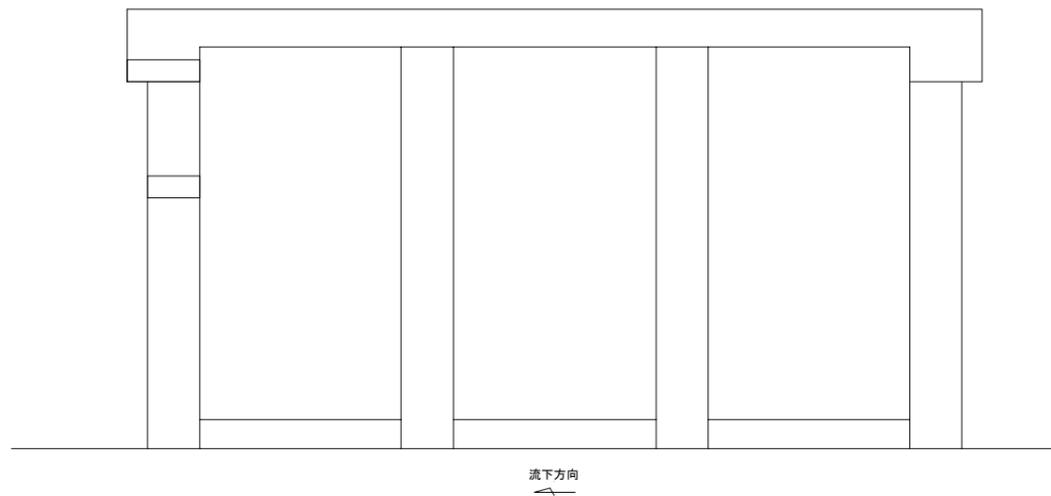
西鍵屋橋 補修詳細図(4) S=1/100

断面修復工・ひび割れ補修工 (1径間 P1橋脚)

起点側



終点側



ひび割れ補修工 (低圧注入工法)

番号	幅 (mm)	長さ (m)
△	0.60	0.9
合計		0.9

断面修復工 (防錆処理有り)

番号	防錆処理	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	有	0.250	1.370	0.053	0.343	0.0182
②	有	0.100	0.100	0.053	0.010	0.0005
③	有	0.150	0.150	0.053	0.023	0.0012
④	有	0.350	1.430	0.053	0.501	0.0265
⑤	有	0.450	1.300	0.053	0.585	0.0310
⑥	有	0.150	0.100	0.053	0.015	0.0008
⑦	有	0.100	0.200	0.053	0.020	0.0011
合計 (防錆処理有)					1.497	0.0793

断面修復工 (防錆処理無し)

番号	防錆処理	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	無	0.060	0.150	0.030	0.009	0.0003
合計 (防錆処理無)					0.009	0.0003

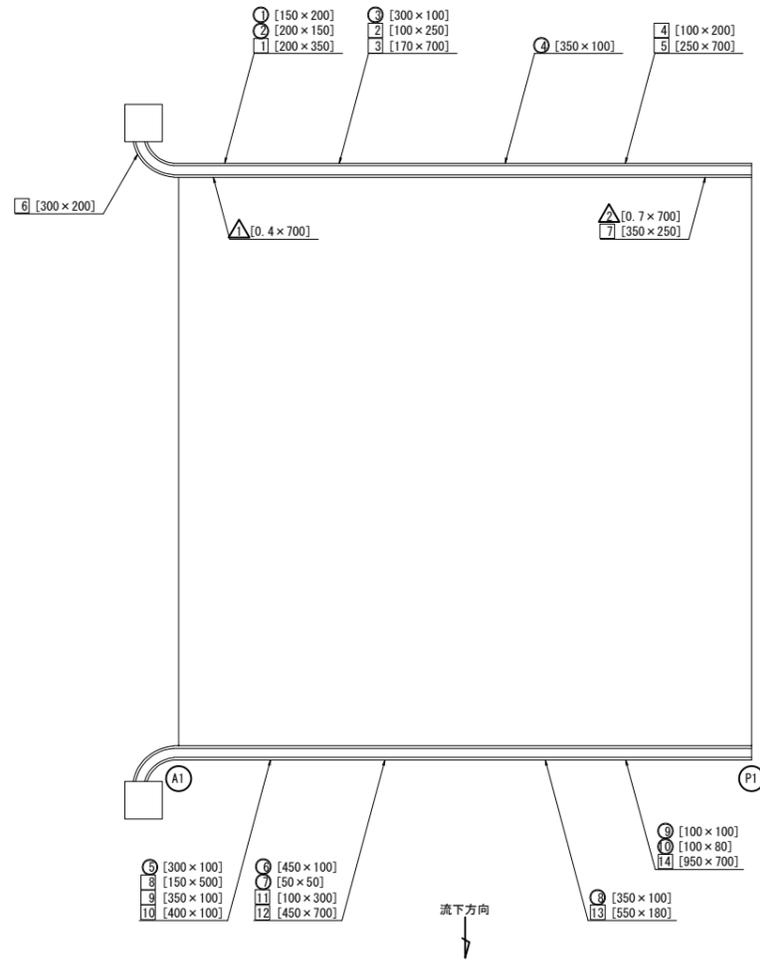
断面修復工・ひび割れ補修工 合計

細別	内訳	仕様	単位	数量	備考
ひび割れ補修工 低圧注入工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	0.9	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.042	ロス率(0.15)を含む。
	シール材	エポキシ樹脂パテ	kg	0.230	ロス率を含まない。
	注入器	注入器	個	3	
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0793	
断面修復工 左官工法 (防錆処理無し)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0003	

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(4)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	1 / 100	図面番号	5 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

西鍵屋橋 補修詳細図(5) S=1/100

断面修復工・ひび割れ補修工 (1径間 橋面)



ひび割れ補修工 (低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)
△	0.40	0.7
△	0.70	0.7
合計		1.4

断面修復工 (防錆処理有り)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)
1	有	0.200	0.350	0.053	0.070	0.0037
2	有	0.100	0.250	0.053	0.025	0.0013
3	有	0.170	0.700	0.053	0.119	0.0063
4	有	0.100	0.200	0.053	0.020	0.0011
5	有	0.250	0.700	0.053	0.175	0.0093
6	有	0.300	0.200	0.053	0.060	0.0032
7	有	0.350	0.250	0.053	0.088	0.0046
8	有	0.150	0.500	0.053	0.075	0.0040
9	有	0.350	0.100	0.053	0.035	0.0019
10	有	0.400	0.100	0.053	0.040	0.0021
11	有	0.100	0.300	0.053	0.030	0.0016
12	有	0.450	0.700	0.053	0.315	0.0167
13	有	0.550	0.180	0.053	0.099	0.0052
14	有	0.950	0.700	0.053	0.665	0.0352
合計 (防錆処理有)					1.816	0.0962

断面修復工 (防錆処理無し)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)
1	無	0.150	0.200	0.030	0.030	0.0009
2	無	0.200	0.150	0.030	0.030	0.0009
3	無	0.300	0.100	0.030	0.030	0.0009
4	無	0.350	0.100	0.030	0.035	0.0011
5	無	0.300	0.100	0.030	0.030	0.0009
6	無	0.450	0.100	0.030	0.045	0.0014
7	無	0.050	0.050	0.030	0.003	0.0001
8	無	0.350	0.100	0.030	0.035	0.0011
9	無	0.100	0.100	0.030	0.010	0.0003
10	無	0.100	0.080	0.030	0.008	0.0002
合計 (防錆処理無)					0.256	0.0078

断面修復工・ひび割れ補修工 合計

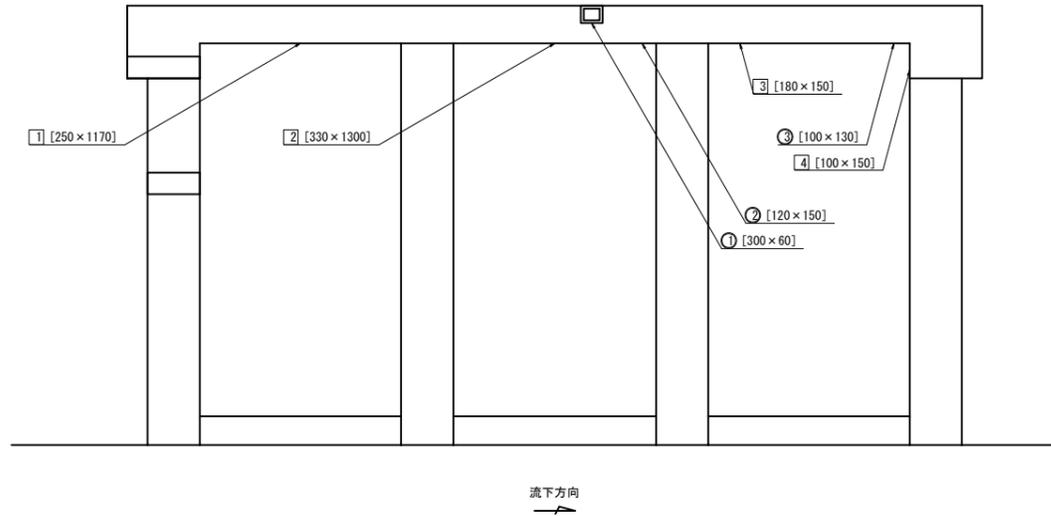
細別	内訳	仕様	単位	数量	備考
ひび割れ補修工 低圧注入工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	1.4	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.060	ロス率(0.15)を含む。
	シール材	エポキシ樹脂パテ	kg	0.357	ロス率を含まない。
	注入器	注入器	個	5	
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m3	0.0962	
断面修復工 左官工法 (防錆処理無し)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m3	0.0078	

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(5)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	1 / 100	図面番号	6 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

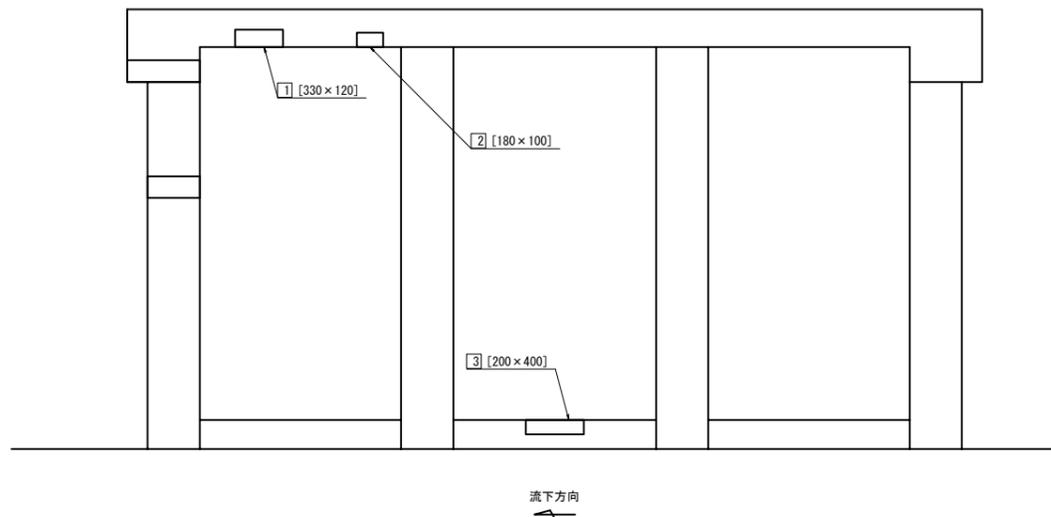
西鍵屋橋 補修詳細図(6) S=1/100

断面修復工・ひび割れ補修工 (2径間 P2橋脚)

起点側



終点側



断面修復工 (起点側)
(防錆処理有り)

番号	防錆処理	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	有	0.250	1.170	0.053	0.293	0.0155
②	有	0.330	1.300	0.053	0.429	0.0227
③	有	0.180	0.150	0.053	0.027	0.0014
④	有	0.100	0.150	0.053	0.015	0.0008
合計 (防錆処理有)					0.764	0.0404

断面修復工 (起点側)
(防錆処理無し)

番号	防錆処理	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	無	0.300	0.060	0.030	0.018	0.0005
②	無	0.120	0.150	0.030	0.018	0.0005
③	無	0.100	0.130	0.030	0.013	0.0004
合計 (防錆処理無)					0.049	0.0014

断面修復工 (終点側)
(防錆処理有り)

番号	防錆処理	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	有	0.330	0.120	0.053	0.040	0.0021
②	有	0.180	0.100	0.053	0.018	0.0010
③	有	0.200	0.400	0.053	0.080	0.0042
合計 (防錆処理有)					0.138	0.0073

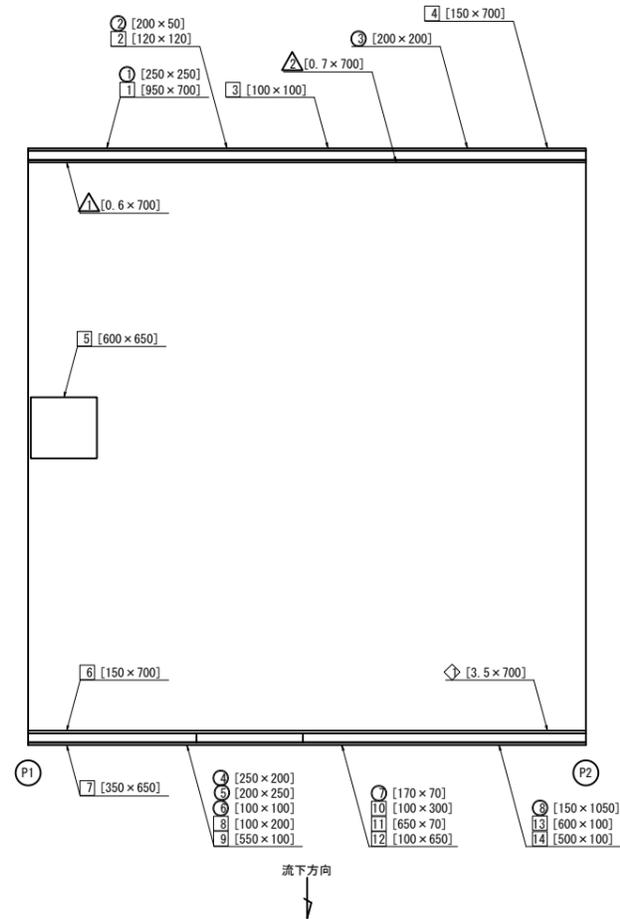
断面修復工・ひび割れ補修工 合計

細別	内訳	仕様	単位	数量	備考
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0477	
断面修復工 左官工法 (防錆処理無し)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0014	

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(6)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	1 / 100	図面番号	7 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

西鍵屋橋 補修詳細図(7) S=1/100

断面修復工・ひび割れ補修工 (2径間 橋面)



ひび割れ補修工 (低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)
△	0.60	0.7
△	0.70	0.7
合計		1.4

ひび割れ補修工 (充てん工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)
◇	3.50	0.7
合計		0.7

断面修復工 (防錆処理有り)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
1	有	0.950	0.700	0.053	0.665	0.0352
2	有	0.120	0.120	0.053	0.014	0.0008
3	有	0.100	0.100	0.053	0.010	0.0005
4	有	0.150	0.700	0.053	0.105	0.0056
5	有	0.600	0.650	0.053	0.390	0.0207
6	有	0.150	0.700	0.053	0.105	0.0056
7	有	0.350	0.650	0.053	0.228	0.0121
8	有	0.100	0.200	0.053	0.020	0.0011
9	有	0.550	0.100	0.053	0.055	0.0029
10	有	0.100	0.300	0.053	0.030	0.0016
11	有	0.650	0.070	0.053	0.046	0.0024
12	有	0.100	0.650	0.053	0.065	0.0034
13	有	0.600	0.100	0.053	0.060	0.0032
14	有	0.500	0.100	0.053	0.050	0.0027
合計 (防錆処理有)					1.843	0.0978

断面修復工 (防錆処理無し)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
1	無	0.250	0.250	0.030	0.063	0.0019
2	無	0.200	0.050	0.030	0.010	0.0003
3	無	0.200	0.200	0.030	0.040	0.0012
4	無	0.250	0.200	0.030	0.050	0.0015
5	無	0.200	0.250	0.030	0.050	0.0015
6	無	0.100	0.100	0.030	0.010	0.0003
7	無	0.170	0.070	0.030	0.012	0.0004
8	無	0.150	1.050	0.030	0.158	0.0047
合計 (防錆処理無)					0.393	0.0118

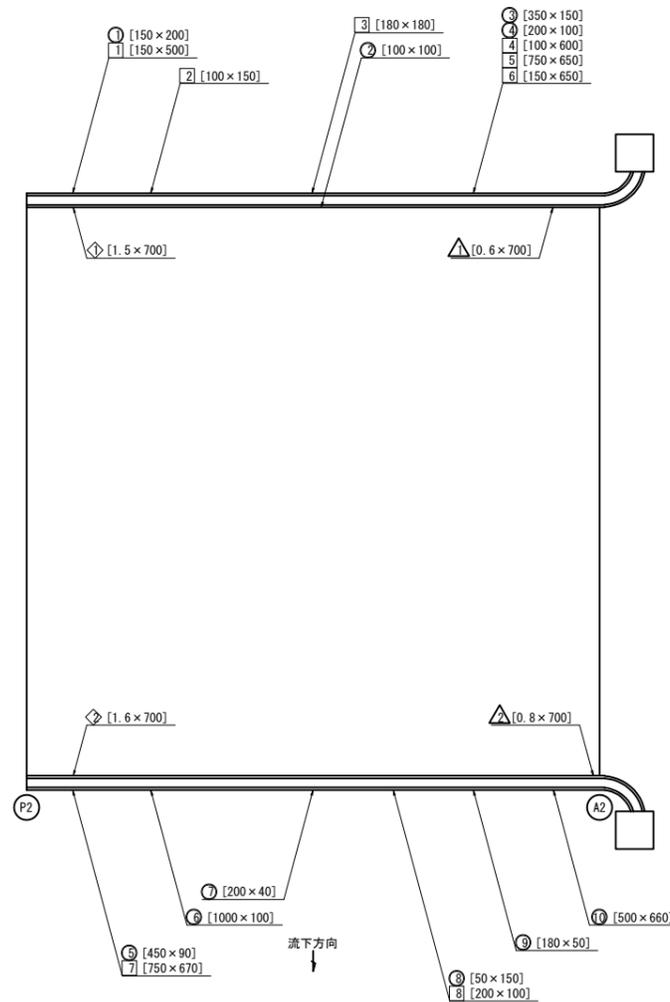
断面修復工・ひび割れ補修工 合計

細別	内訳	仕様	単位	数量	備考
ひび割れ補修工 低圧注入工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	1.4	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.078	ロス率(0.15)を含む。
	シール材	エポキシ樹脂パテ	kg	0.357	ロス率を含まない。
	注入器	注入器	個	5	
ひび割れ補修工 充てん工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	0.7	
	充てん材	ポリウレタン系シーリング材	kg	0.076	ロス率を含まない。
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0978	
断面修復工 左官工法 (防錆処理無し)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0118	

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(7)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	1 / 100	図面番号	8 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

西鍵屋橋 補修詳細図(8) S=1/100

断面修復工・ひび割れ補修工 (3径間 橋面)



ひび割れ補修工 (低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)
△	0.60	0.7
△	0.80	0.7
合計		1.4

ひび割れ補修工 (充てん工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)
◇	1.50	0.70
◇	1.60	0.70
合計		1.40

断面修復工 (防錆処理有り)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
1	有	0.150	0.500	0.053	0.075	0.0040
2	有	0.100	0.150	0.053	0.015	0.0008
3	有	0.180	0.180	0.053	0.032	0.0017
4	有	0.100	0.600	0.053	0.060	0.0032
5	有	0.750	0.650	0.053	0.488	0.0258
6	有	0.150	0.650	0.053	0.098	0.0052
7	有	0.750	0.670	0.053	0.503	0.0266
8	有	0.200	0.100	0.053	0.020	0.0011
合計 (防錆処理有)					1.291	0.0684

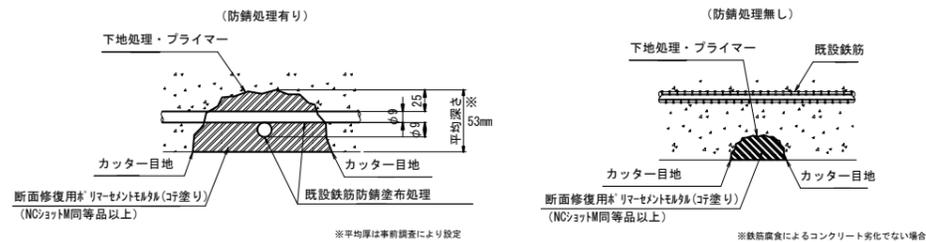
断面修復工 (防錆処理無し)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
1	無	0.150	0.200	0.030	0.030	0.0009
2	無	0.100	0.100	0.030	0.010	0.0003
3	無	0.350	0.150	0.030	0.053	0.0016
4	無	0.200	0.100	0.030	0.020	0.0006
5	無	0.450	0.090	0.030	0.041	0.0012
6	無	1.000	0.100	0.030	0.100	0.0030
7	無	0.200	0.040	0.030	0.008	0.0002
8	無	0.050	0.150	0.030	0.008	0.0002
9	無	0.180	0.050	0.030	0.009	0.0003
10	無	0.500	0.660	0.030	0.330	0.0099
合計 (防錆処理無)					0.609	0.0182

断面修復工・ひび割れ補修工 合計

細別	内訳	仕様	単位	数量	備考
ひび割れ補修工 低圧注入工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	1.4	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.093	ロス率(0.15)を含む。
	シーリング材	エポキシ樹脂パテ	kg	0.357	ロス率を含まない。
	注入器	注入器	個	5	
ひび割れ補修工 充てん工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	1.4	
	充てん材	ポリウレタン系シーリング材	kg	0.153	ロス率を含まない。
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0684	
断面修復工 左官工法 (防錆処理無し)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0182	

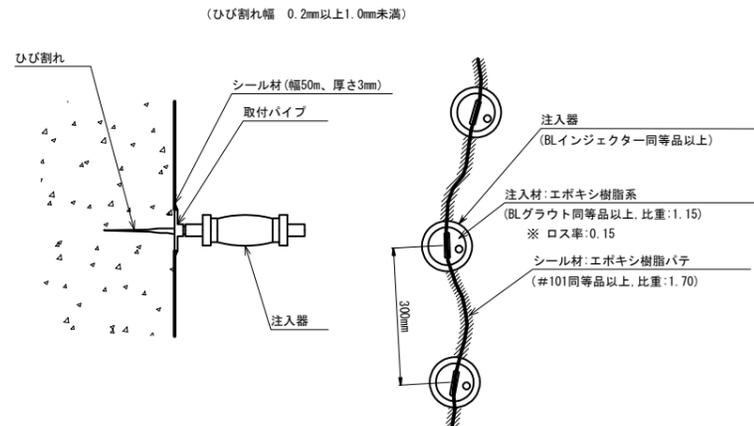
断面修復工詳細図



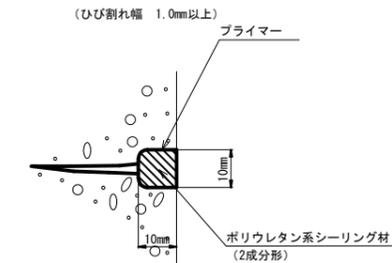
断面修復工特記事項

1. 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
2. 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地に確認すること。
3. 空袋・充袋については、監督職員の了承を得ること。
4. 断面修復の箇所のフェーザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

ひび割れ補修工(低圧注入工法)詳細図



ひび割れ補修工(充てん工法)詳細図

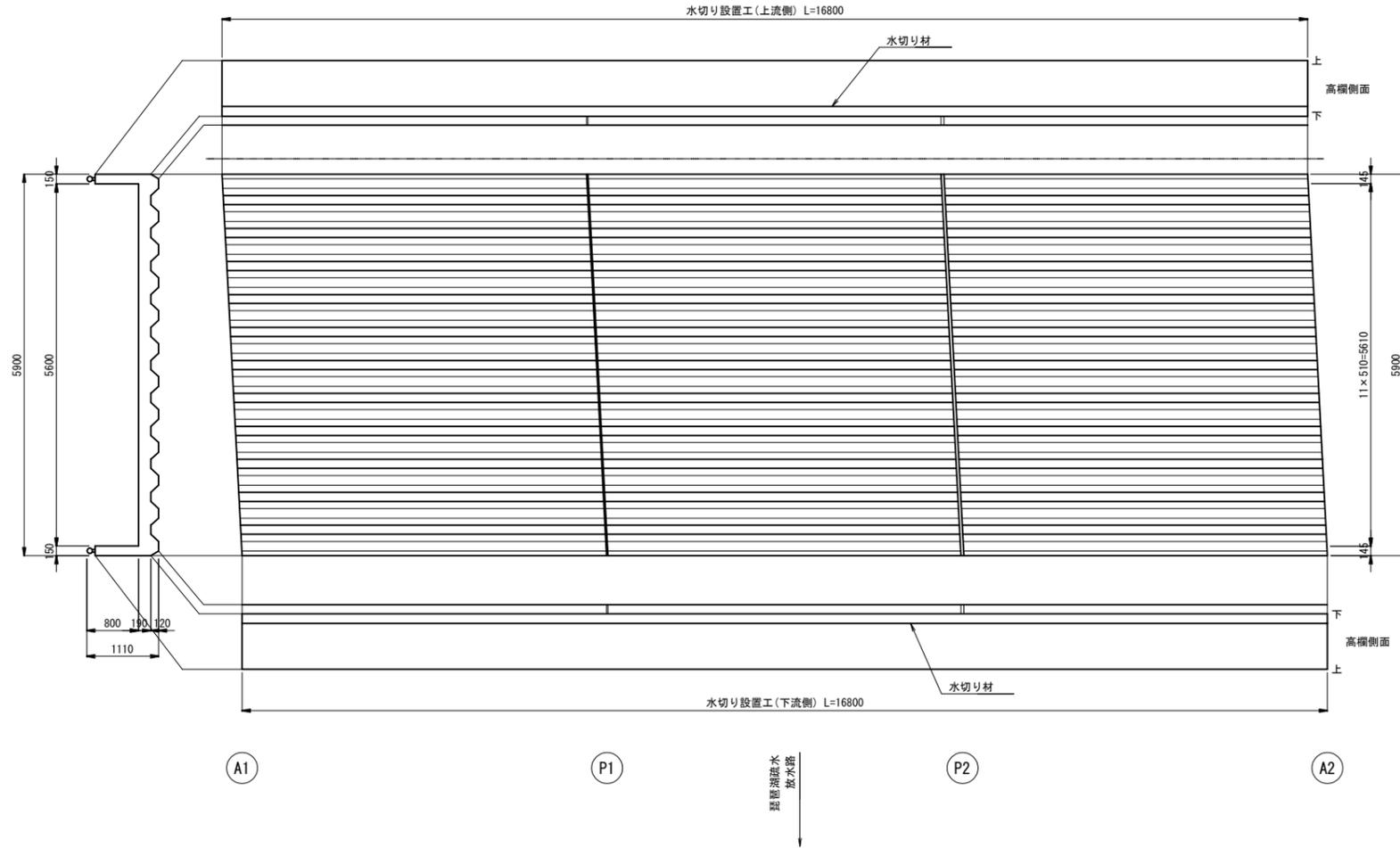


工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(8)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	1 / 100	図面番号	9 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

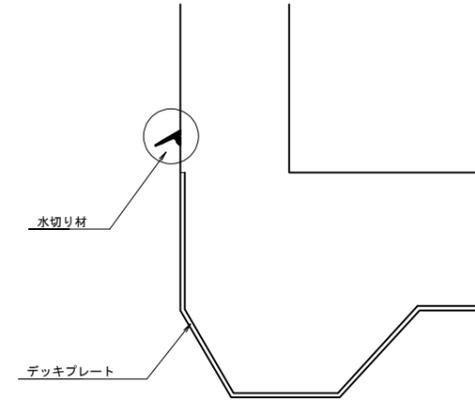
西鍵屋橋 補修詳細図(9)

水切り設置工

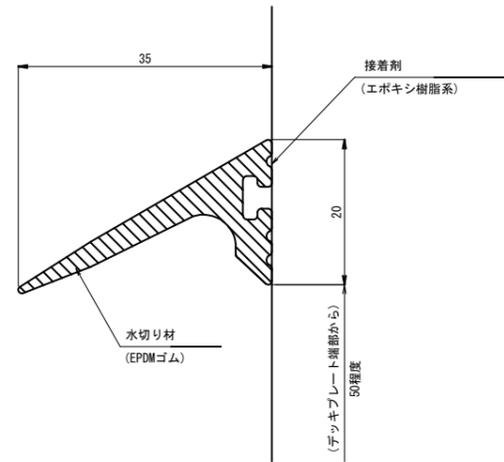
桁 下 面 S=1/50



水切り詳細図(1) S=1/5



水切り詳細図(2) S=1/2



水切り設置工数量表

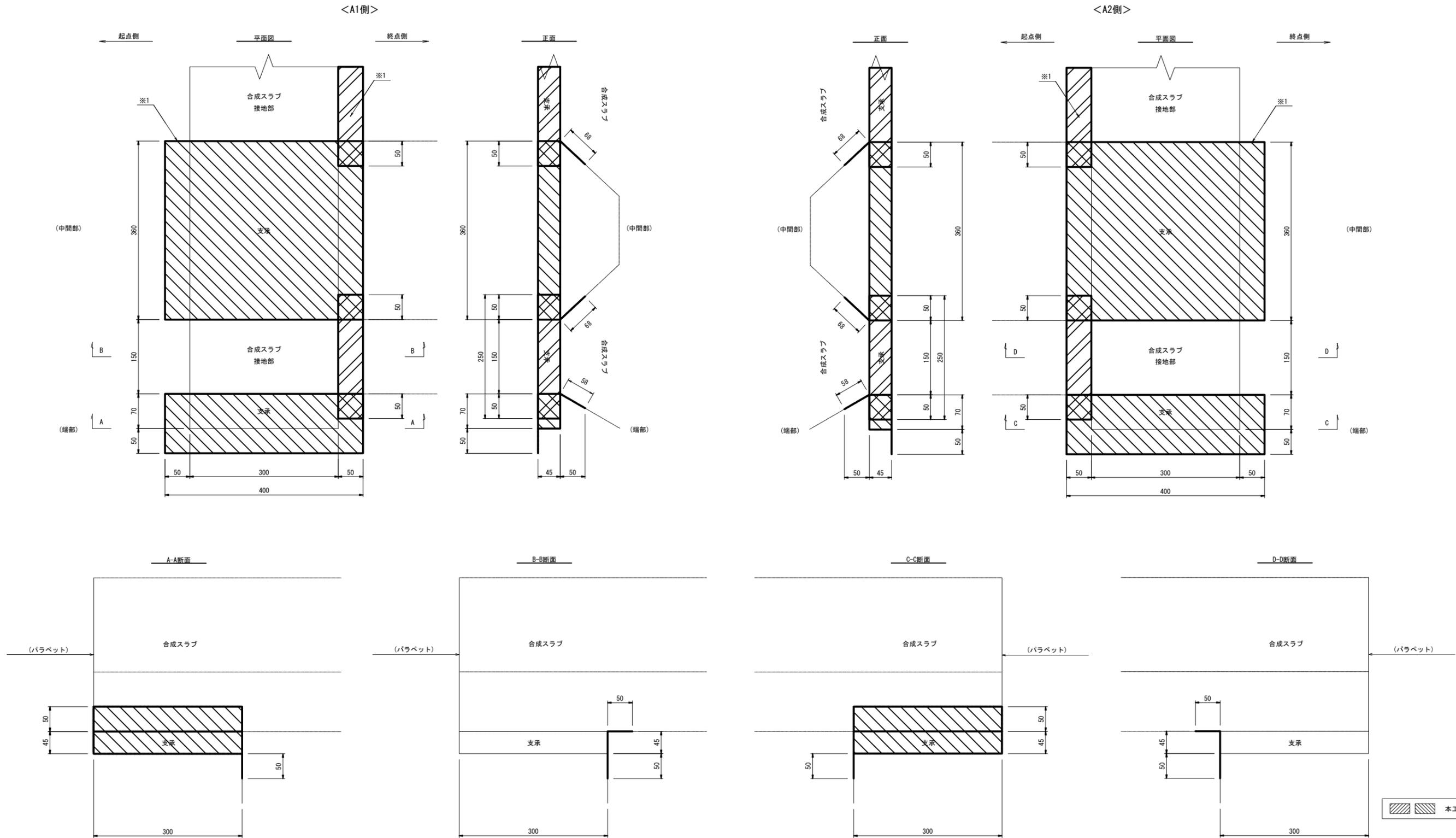
細 別	材 料	規 格	単 位	上流側	下流側	合 計	備 考
水切り設置工	ウォーターカッター(側面用)同等品以上	EPDMゴム	m	16.800	16.800	33.600	

1. 施工数量については現地再確認を行ったうえで監督職員の承諾を得て決定すること。

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(9)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	10 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

西鍵屋橋 補修詳細図(10)

支承防食工(1) 支承部詳細図 S=1/4



支承防食工数量表

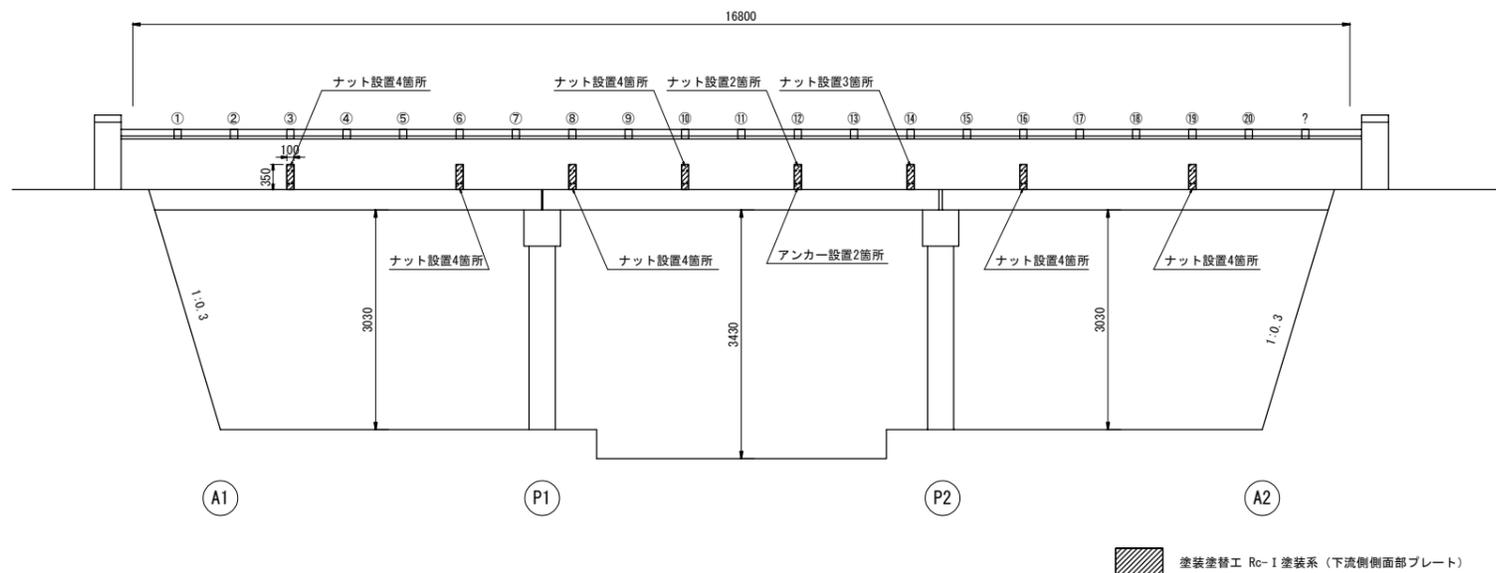
使用材料	施工箇所	単位	数量	備考
高機能長耐久性防食防水テープ	A1側	m ²	2.76	
	A2側	m ²	2.76	
合計		m ²	5.52	

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(10)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	1/4	図面番号	11/32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

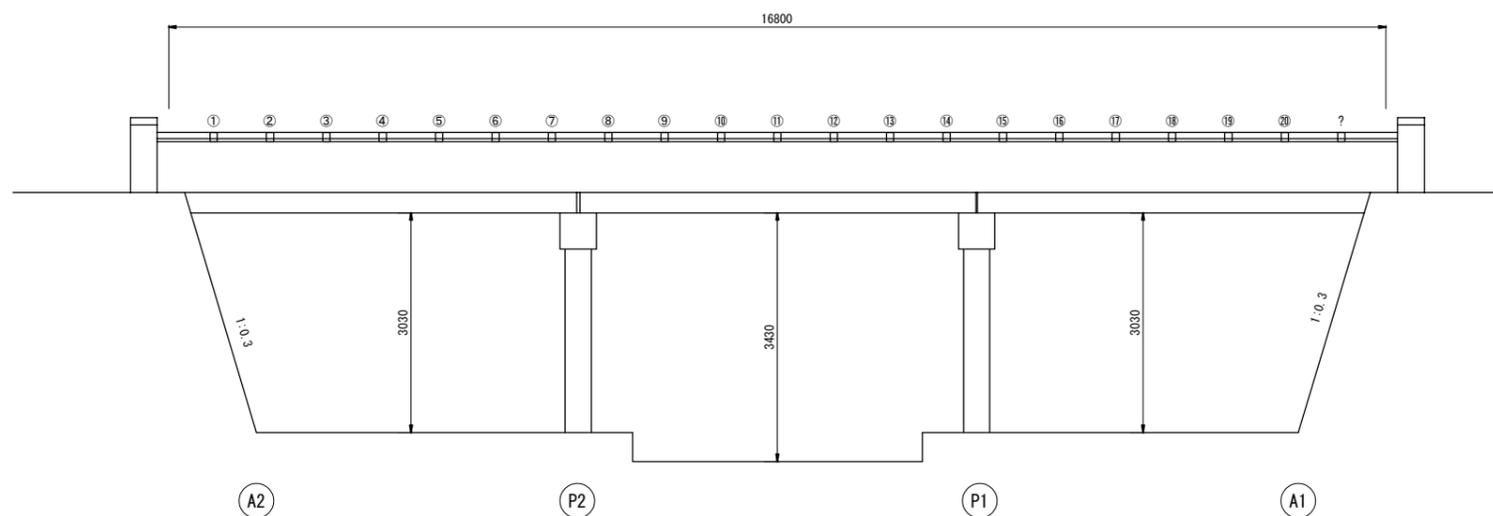
西鍵屋橋 補修詳細図(12)

高欄補修工

側面図 S=1/50
(下流側)

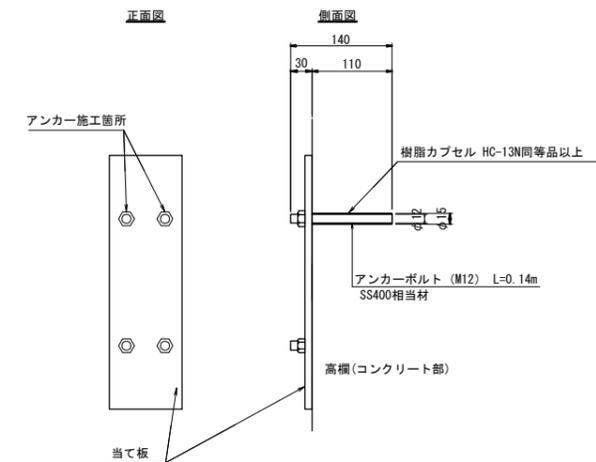


側面図 S=1/50
(上流側)



下流側側面部プレート
アンカー設置詳細図 S=1/5

〈下流側⑫〉



高欄補修工数量表

種別	細別	規格・条件	単位	数量	備考
高欄補修工	アンカー設置	アンカーボルトM12×140 (SS400相当材,表面処理無し)	本	2	
		樹脂カプセル (HC-13N同等品以上)	本	2	
	ナット設置	M12 (SS400相当材,表面処理無し)	本	2	
		M12 (SS400相当材,表面処理無し)	箇所	29	

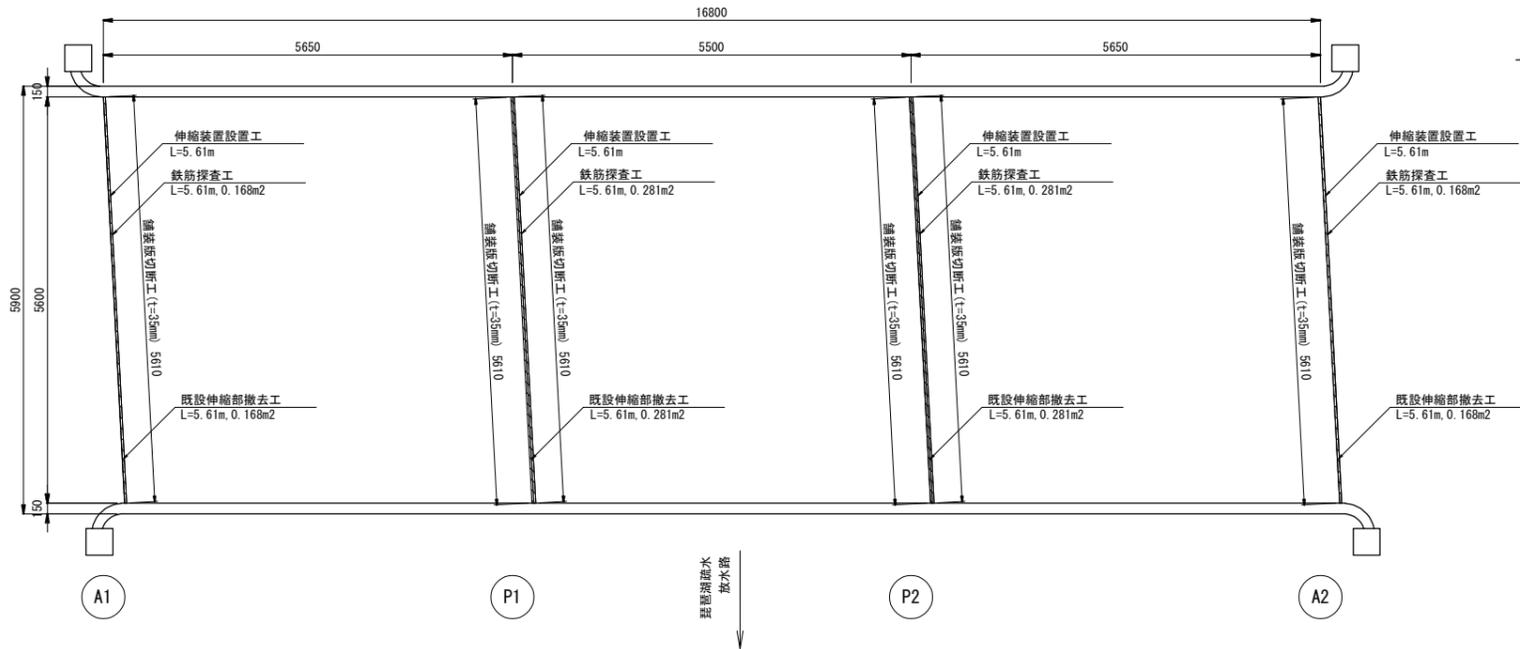
1. 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行ったうえで最終数量を決定すること。

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(12)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	13 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

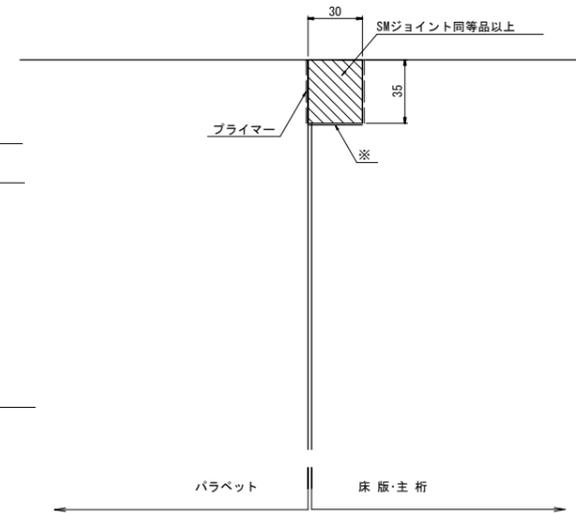
西鍵屋橋 補修詳細図(13)

伸縮継手工

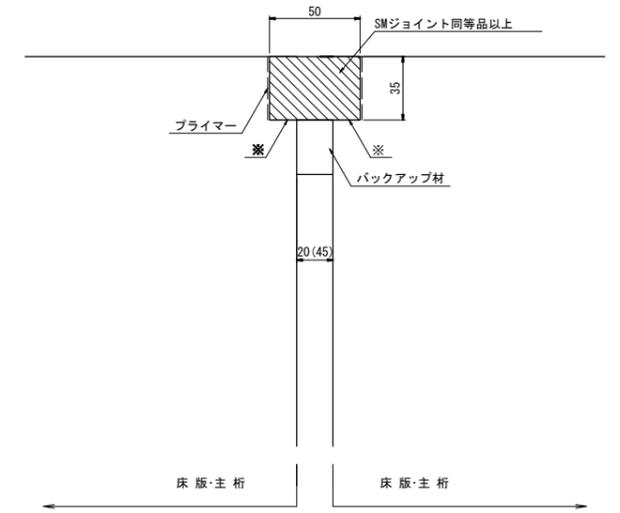
施工位置図 S=1/50



遊間部 (A1, A2) 断面図 S=1/2

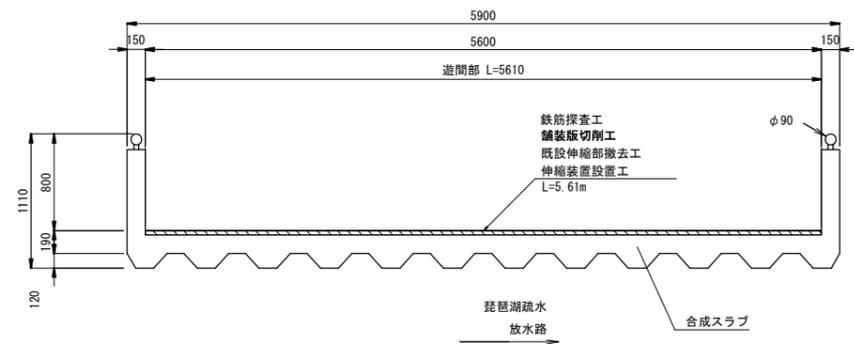


遊間部 (P1, P2) 断面図 S=1/2



注) () 内寸法はP2を示す。

上部工 断面図 S=1/30



伸縮継手工 数量表

細別	内訳	仕様	単位	A1	P1	P2	A2	合計	備考
鉄筋探査工			m ²	0.168	0.281	0.281	0.168	0.898	
舗装版切削工		t=35mm	m	5.610	11.220	11.220	5.610	33.660	
既設伸縮部撤去工			m ²	0.168	0.281	0.281	0.168	0.898	
伸縮装置設置工	SMジョイント同等品以上	SMシール材 (特殊弾性樹脂材)	m	5.610	-	-	5.610	11.220	幅30mm、厚さ35mm
			m	-	5.610	5.610	-	11.220	幅50mm、厚さ35mm
	バックアップ材	ポリエチレン丸棒 φ50mm	m	-	5.610	5.610	-	11.220	ロス率0.11考慮

注) 施工数量については現地再確認を行ったうえで監督職員の承諾を得て決定すること。

注) 施工箇所は事前に鉄筋探査をすること。

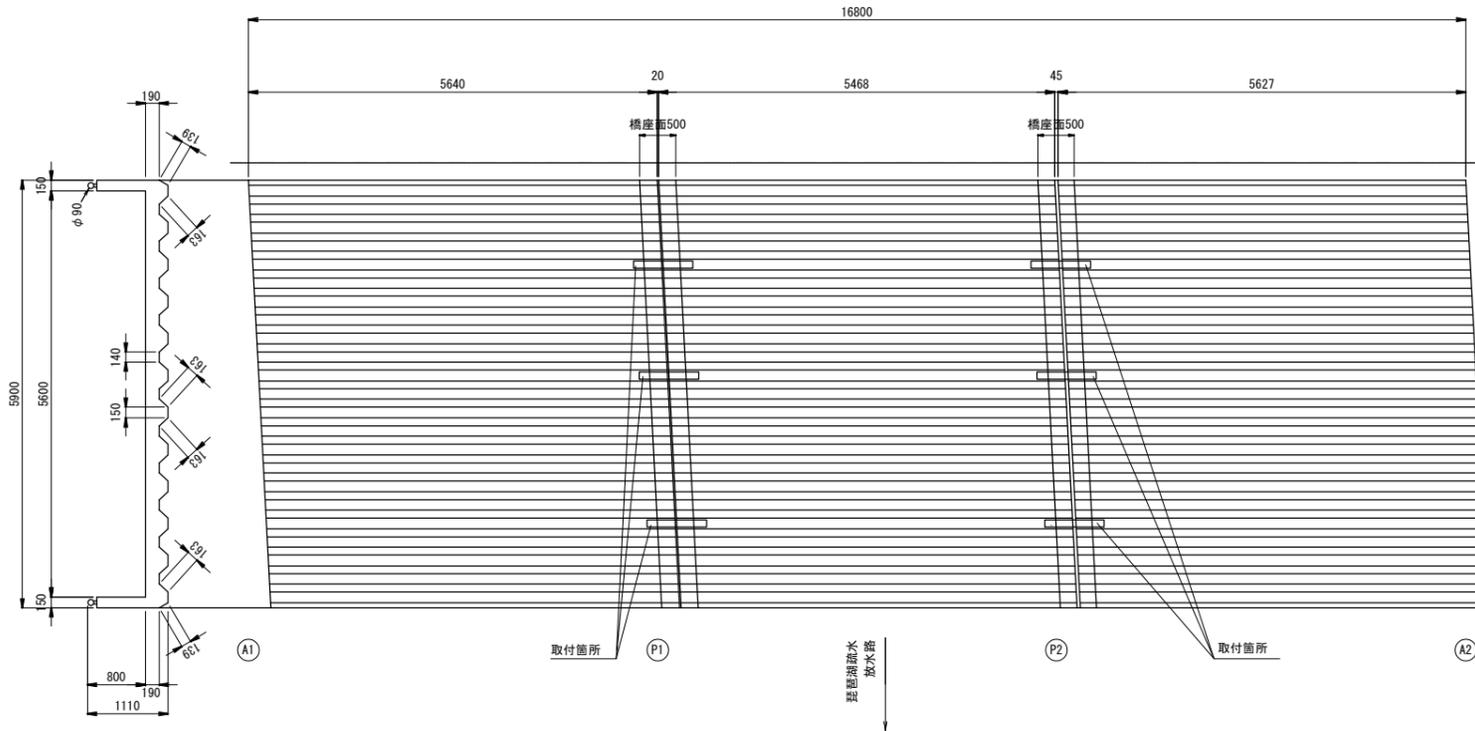
※ コンクリート下部とSMジョイントは縁切り状態にすること。

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(13)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	14 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

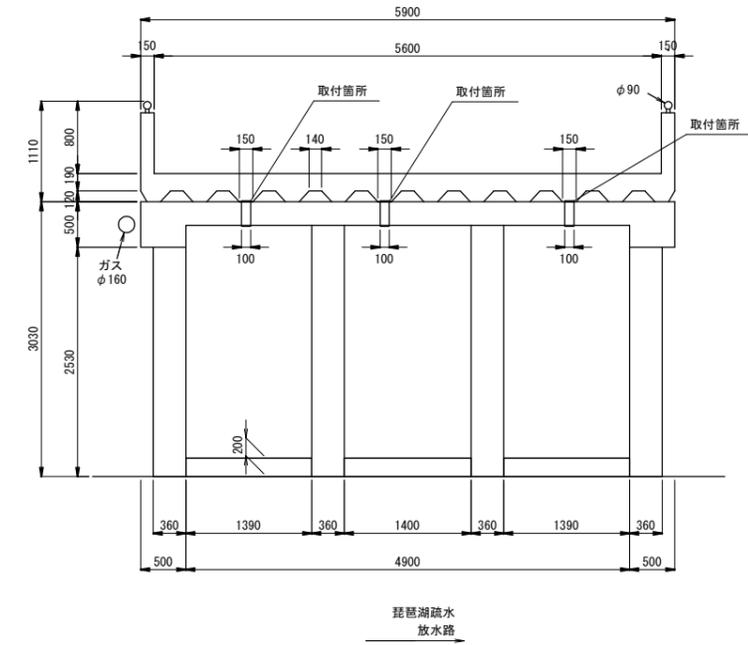
西鍵屋橋 補修詳細図(14)

落橋防止装置工

施工位置図 S=1/50
(平面図)

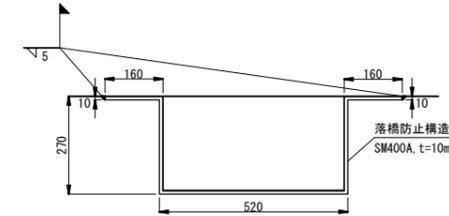


施工位置図 S=1/40
(断面図)

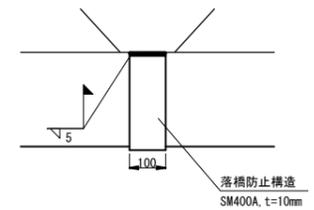


施工箇所拡大図 S=1/10

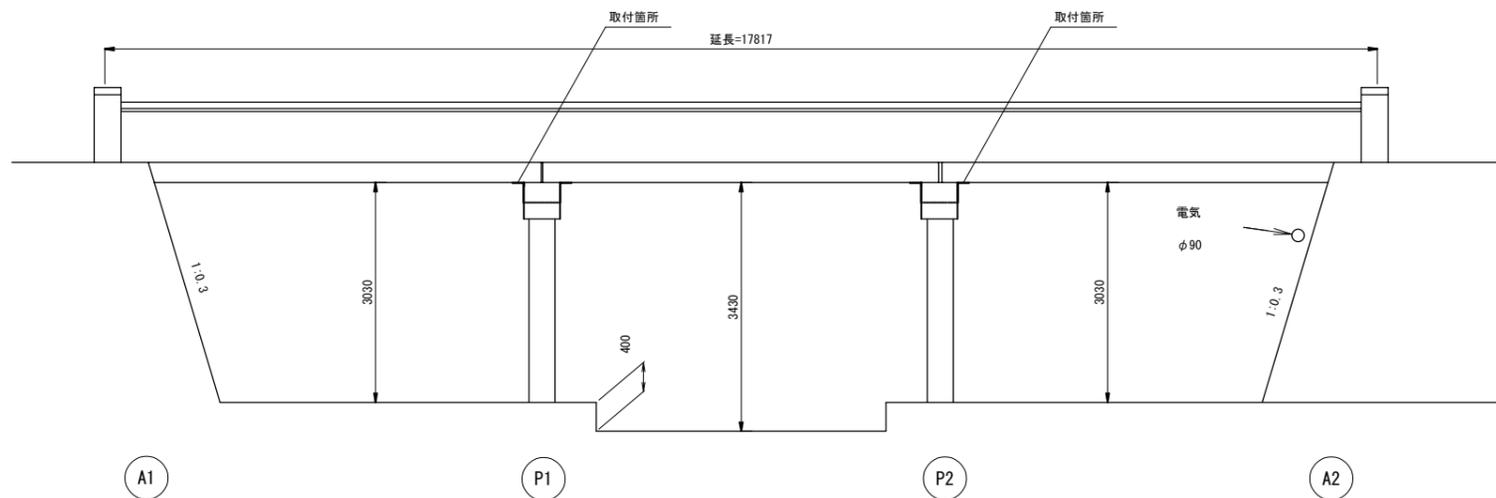
(側面図)



(断面図)



施工位置図 S=1/50
(側面図)



落橋防止装置工数量表

細別	箇所	内訳	規格・条件	単位	数量	備考
落橋防止構造再溶接工	6	落橋防止構造製作工	上記寸法参照(SM400A) 曲げ加工,t=10mm	kg	63.12	10.52kg/個
		現場溶接	すみ肉脚長5mm	m	1.2	

1. 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行ったうえで最終数量を決定すること。
2. ハット形鋼の表面塗装は厚膜無機ジンク(75μ)とすること。
3. ハット形鋼寸法精度は±3mmとすること。

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(14)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	15 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

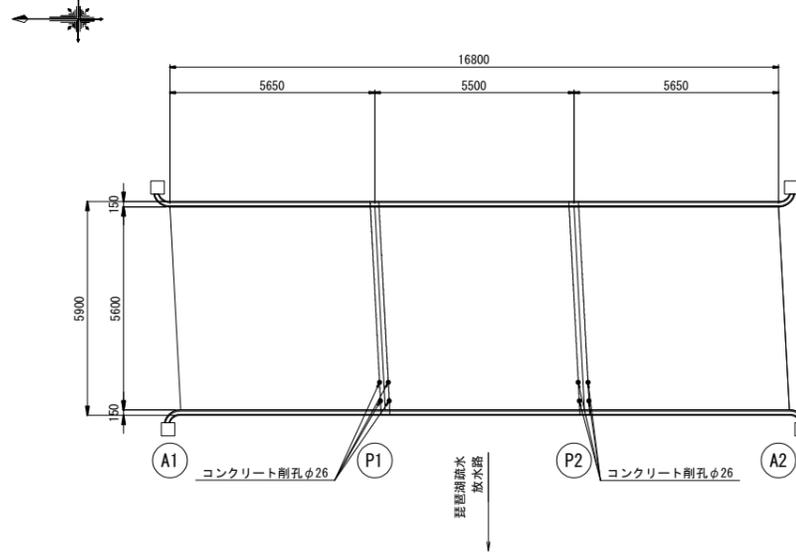
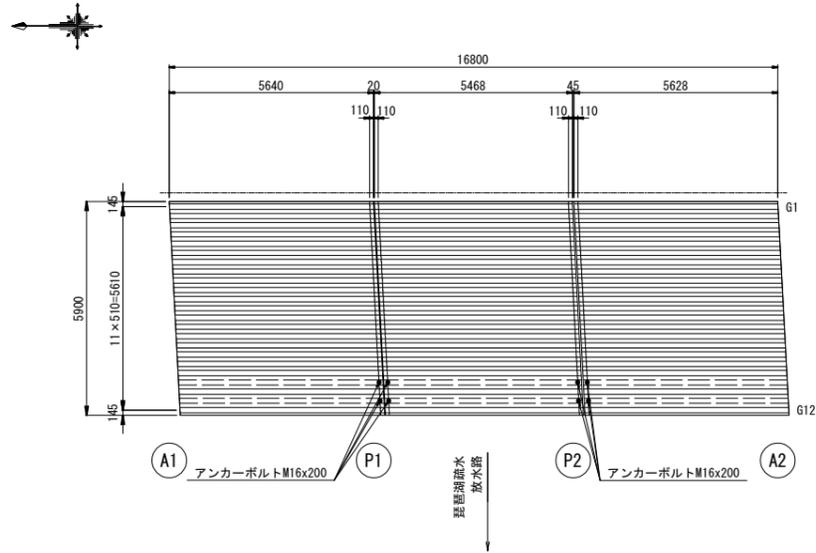
西鍵屋橋 補修詳細図(15)

支承ボルト設置工

平面図 S=1/100

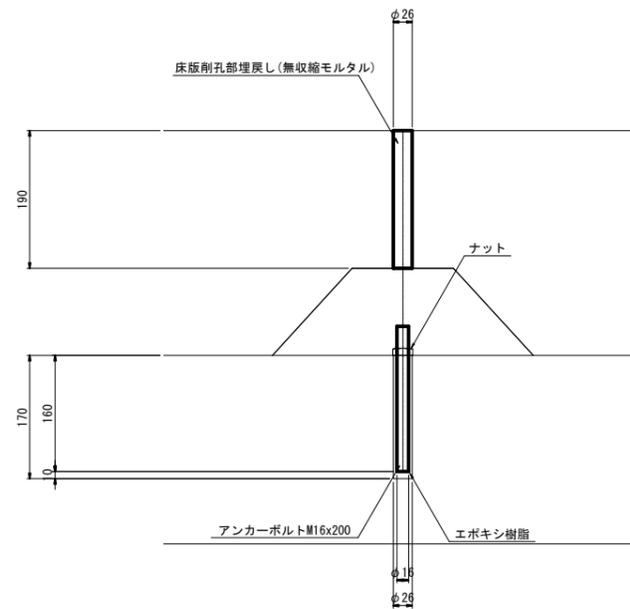
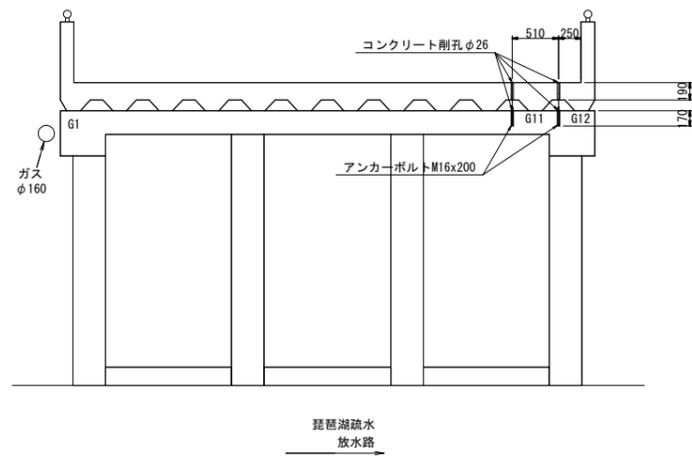
桁下面

橋面



断面図 S=1/40

詳細図 S=1/5



支承ボルト設置工数量表

種別	細別	規格・条件	単位	数量	備考
支承ボルト設置工	アンカー設置	コンクリート削孔 φ26-360mm(190+170)	箇所	8	
		エポキシ樹脂 (アルテコEP-1200同等品以上)	kg	0.7	ロス率(0.20)を含む。
		アンカーボルト(M16×200) (SS400相当材,表面処理無)	本	8	
		ナット(M16) (SS400相当材,表面処理無)	個	8	
	床版削孔部埋戻し	無収縮モルタル	箇所	8	1.875kg

1. 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行ったうえで最終数量を決定すること。

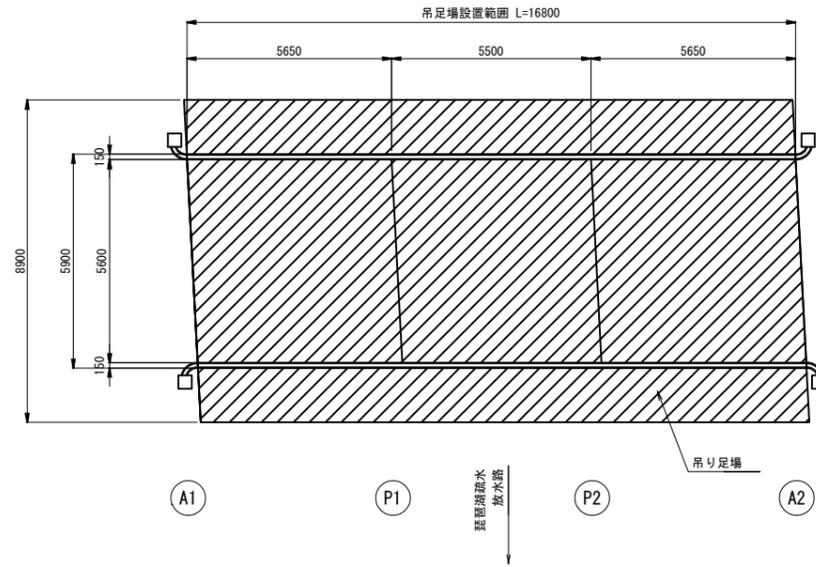
施工手順

1. 路面より削孔(削孔径φ26)
2. 路面よりアンカーボルト挿入
3. 桁下より所定の位置にアンカーボルト設置
4. エポキシ樹脂注入、ナット締め付け
5. 床版削孔部を無収縮モルタルで埋戻し

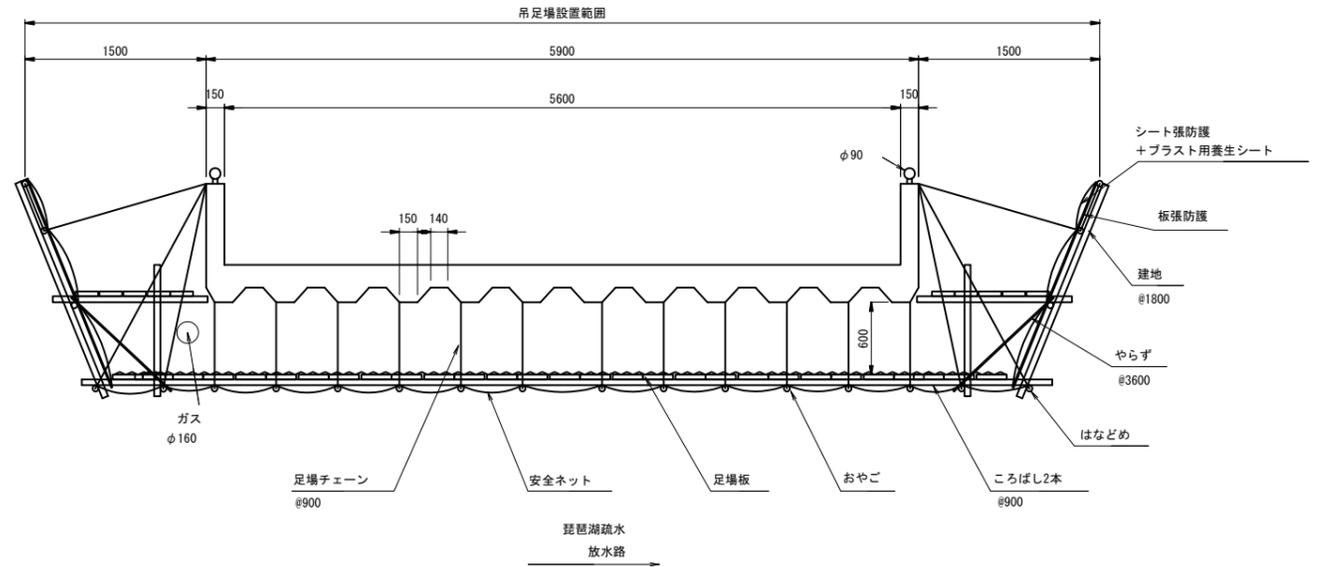
工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	西鍵屋橋 補修詳細図(15)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	16 / 32
京都市建設局土木管理部構りょう健全推進課			

<参考図>西鍵屋橋 吊足場一般図

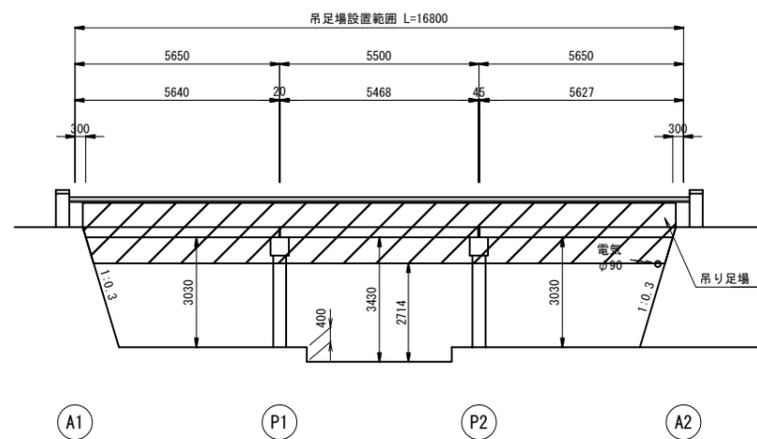
平面図 S=1/100



断面図 S=1/30



側面図 S=1/100



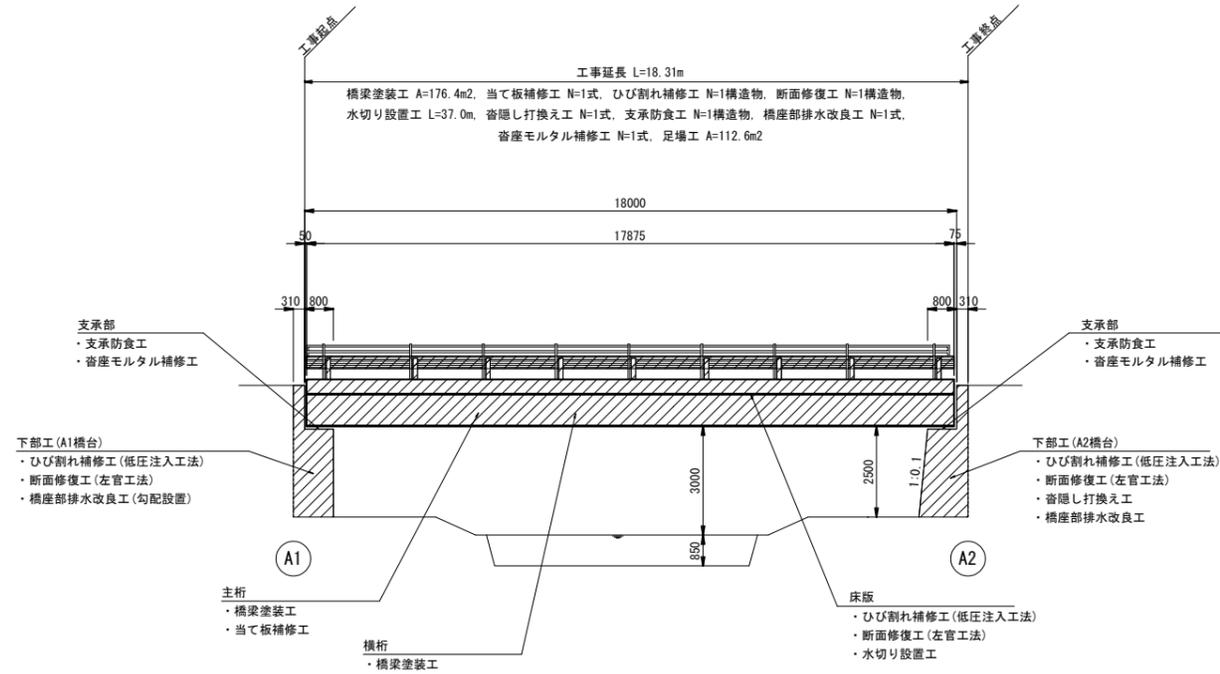
補修用足場工数量表

細別	内訳	単位	設計数量	備考
吊足場工	吊足場(吊元アンカー打設のためのデッキプレートの孔明作業を含む) 床面シート張防護	m2	99.1	A=5.9×16.8=99.1
	プラスト用養生シート	m2	99.1	A=5.9×16.8=99.1

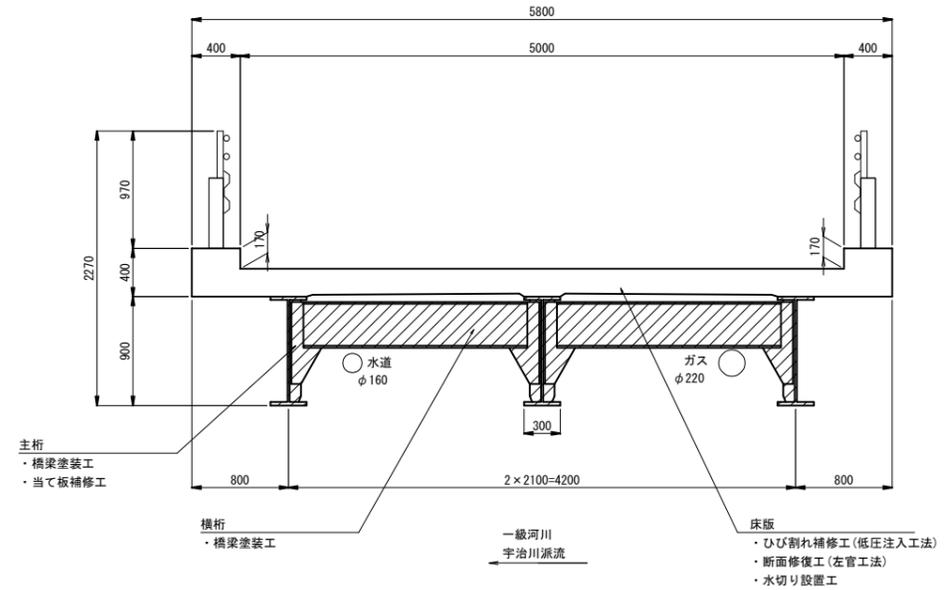
工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	<参考図>西鍵屋橋 吊足場一般図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	17 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

平戸橋 補修一般図

側面図 S=1/100

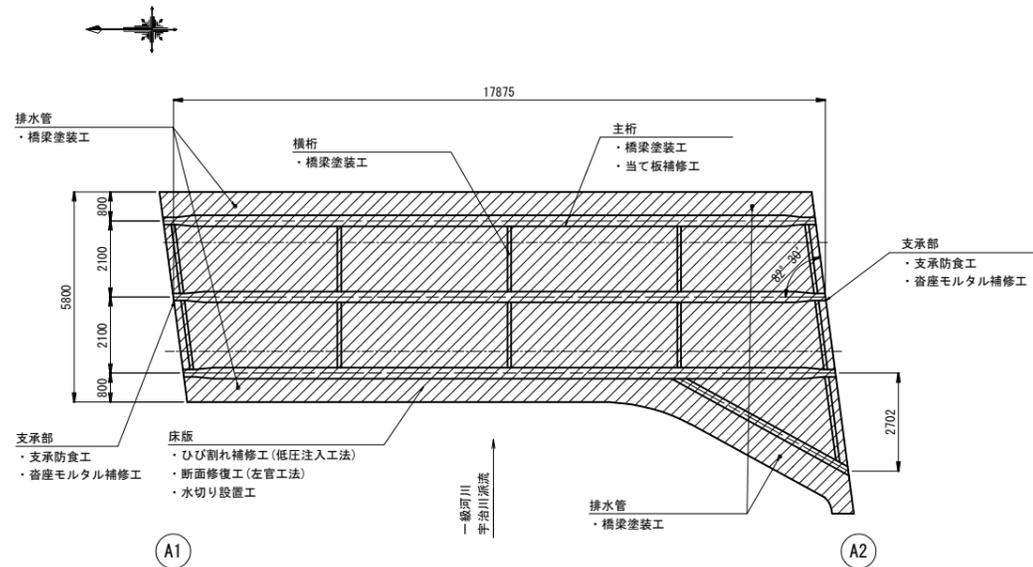


断面図 S=1/30



平面図 S=1/100

桁下面



橋梁諸元	
橋梁形式	H形鋼橋
適用示方書	昭和39年鋼道路橋設計製作示方書
設計荷重	TL-20 (昭和31年)
橋長	18.000 m
桁長	17.875 m
全幅員	5.800 m
有効幅員	5.000 m
下部工形式	逆T式橋台 (A1)、重力式橋台 (A2)
基礎形式	不明
竣工年月	1969年 (昭和44年)

■ 本工事施工箇所

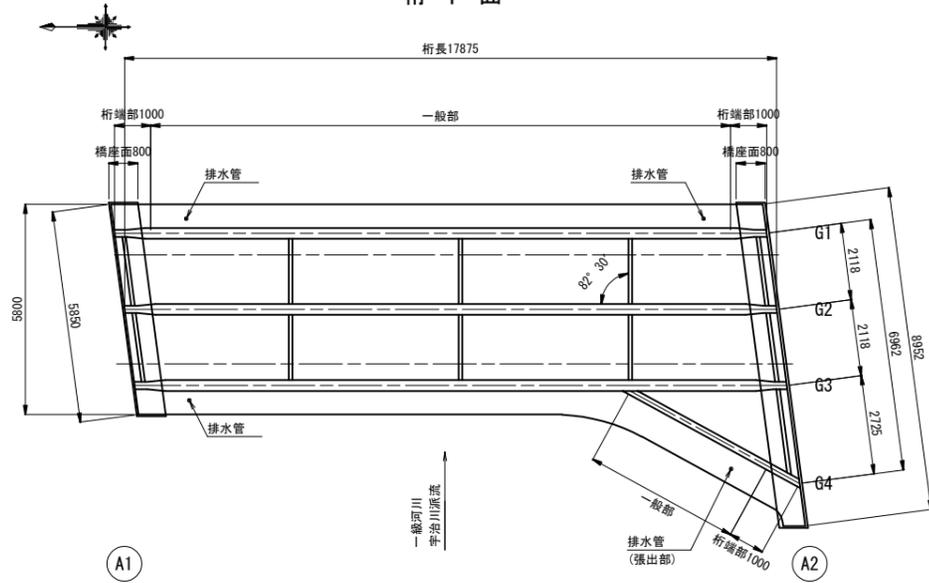
工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	平戸橋 補修一般図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	18 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

平戸橋 補修詳細図(1)

橋梁塗装工(1)

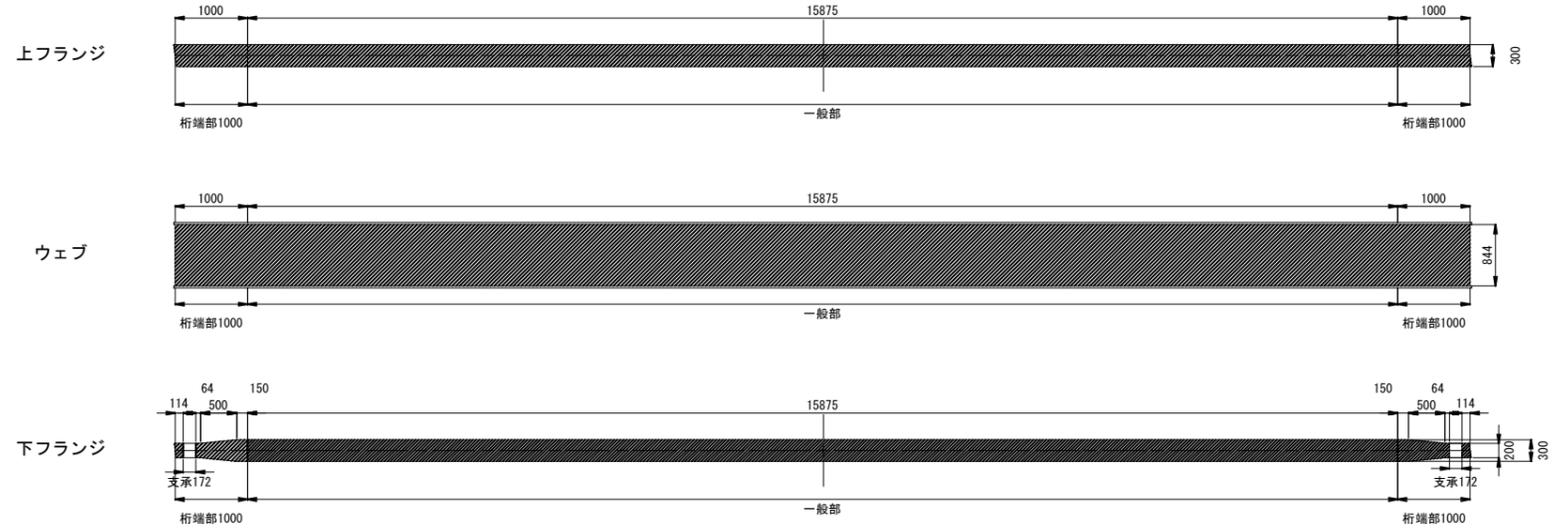
平面図 S=1/100

桁下面



主桁展開図 S=1/50

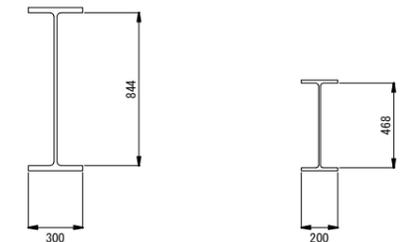
< G1・G2・G3 共通 >



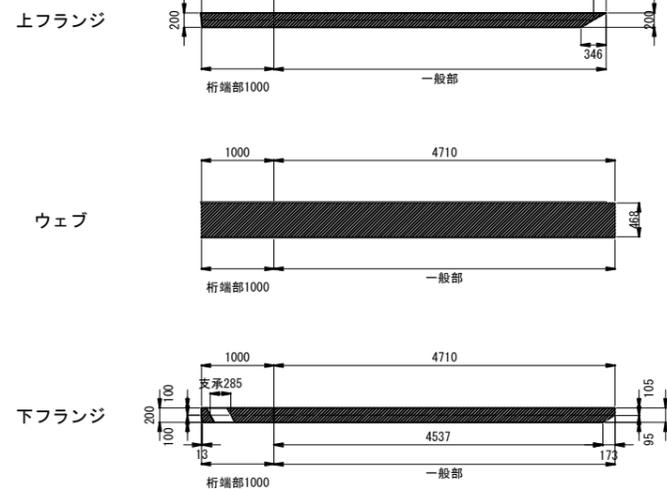
主桁断面図 S=1/20

< G1・G2・G3 共通 >

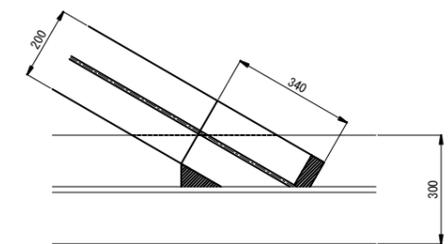
< G4 >



< G4 >



G3・G4接合部ガセット詳細図 S=1/10



Rc-I 塗装系 (スプレー)

塗装工程	仕様	使用量 (kg/m ²)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整	1種. プラスト面形成動力工具		4時間以内
2	防食下地	有機ジンクリッチペイント	0.60kg/m ²	1日~10日
3	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m ²	1日~10日
4	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m ²	1日~10日
5	中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.17kg/m ²	1日~10日
6	上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	0.14kg/m ²	1日~10日

鋼道路橋防食便覧 P. II-118

■ 本工事施工箇所

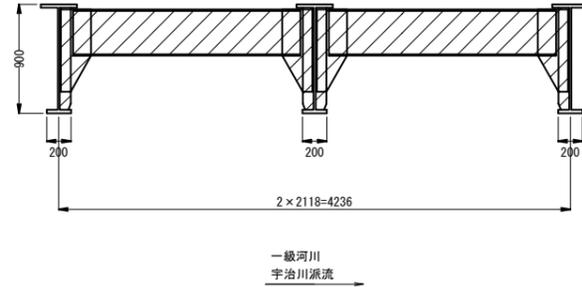
工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	平戸橋 補修詳細図(1)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	19 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

平戸橋 補修詳細図(2)

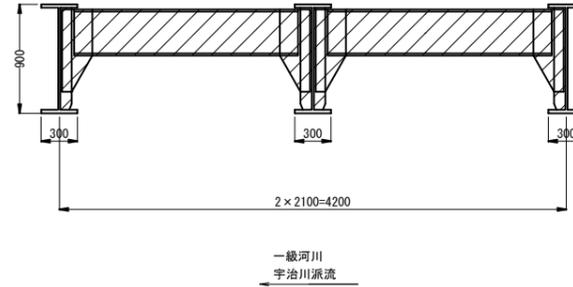
橋梁塗装工(2)

断面図 S=1/30

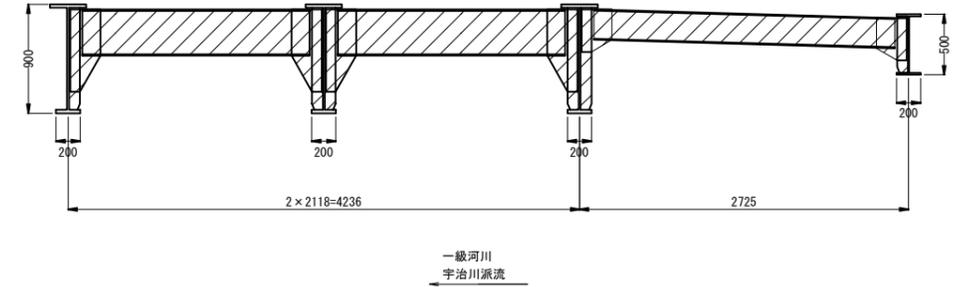
<A1側端部>



<中間部>

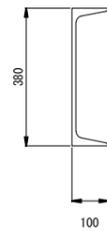


<A2側端部>

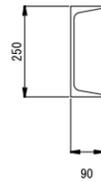


横桁断面図 S=1/10

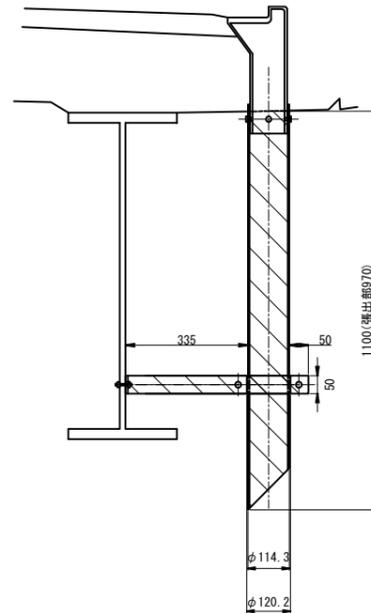
< G1・G2・G3 共通 >



< G4 >



排水管 S=1/10



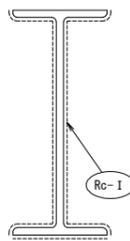
橋梁塗装工 数量集計表

		塗装面積 (m ²)	ケレン面積 (m ²)	備考
桁端部	主桁	15.8	15.8	
一般部	主桁	130.4	130.4	G3・G4接合ガセット部含む
桁端部	横桁	10.9	10.9	
一般部	横桁	13.0	13.0	
桁端部	垂直補剛材	1.5	1.5	
一般部	垂直補剛材	1.8	1.8	
桁端部	ガセット	0.6	0.6	横桁・垂直補剛材との取合い部除く
一般部	ガセット	0.8	0.8	横桁・垂直補剛材との取合い部除く
一般部	排水管	1.6	1.6	
桁端部合計		28.8	28.8	
一般部合計		147.6	147.6	
控除分(当て板補修)		0.4	0.4	
総合計		176.0	176.0	

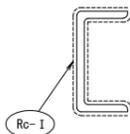
1. 施工時、現地確認の上、詳細寸法を決定すること。
2. 桁端部の範囲は、橋座前面以上で0.5mラウンドとする。

塗装区分図

主桁断面図



横桁断面図



本工事施工箇所

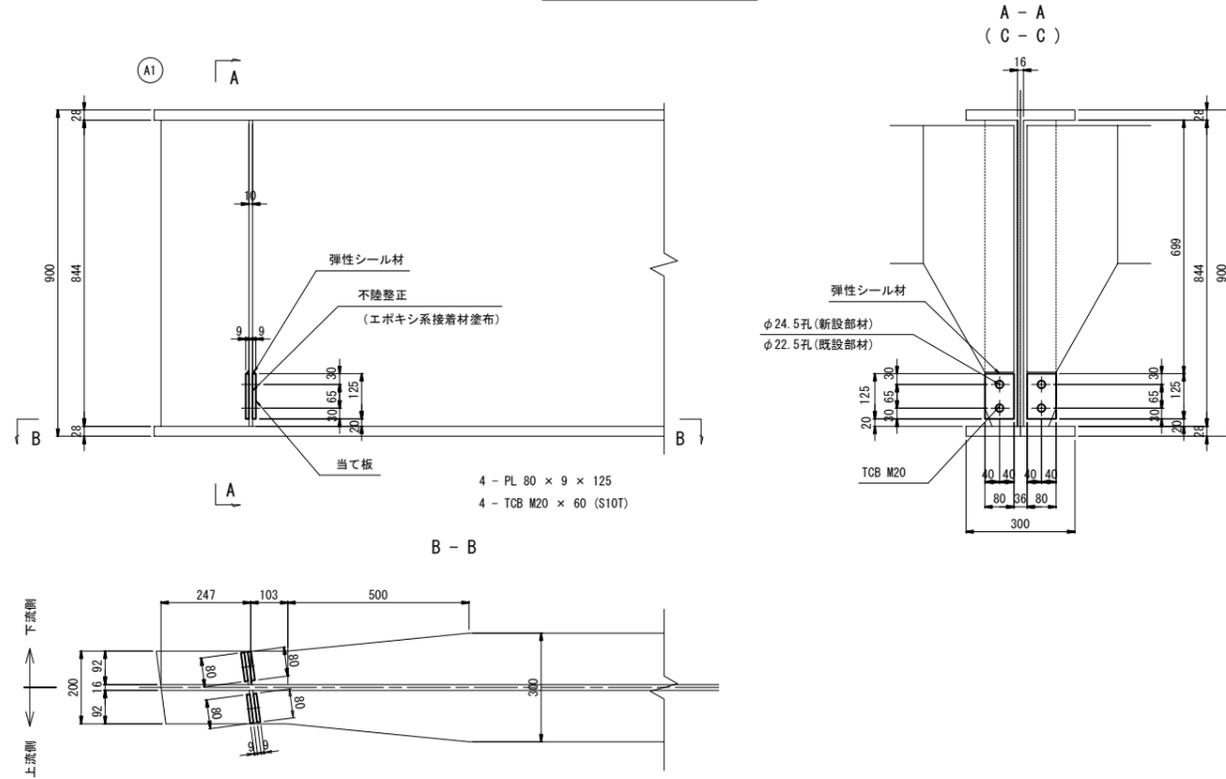
工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	平戸橋 補修詳細図(2)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	20 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

平戸橋 補修詳細図(3)

当て板補修工(1)

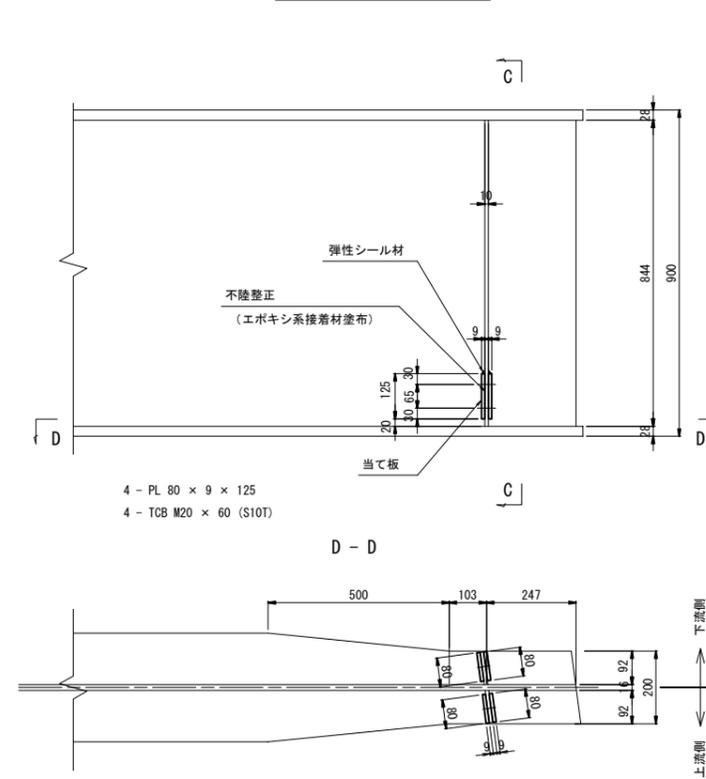
主桁G2 (A1側) S=1:10

S=1:10



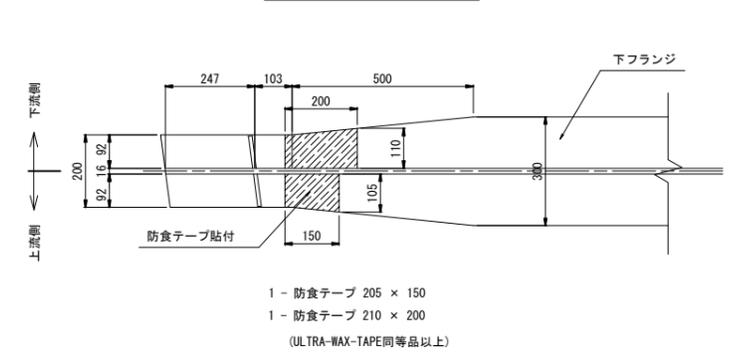
主桁G2 (A2側) S=1:10

S=1:10

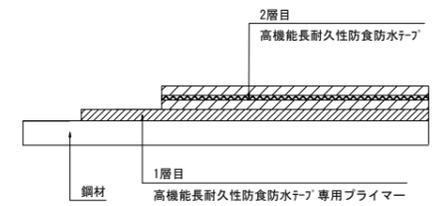


主桁G3 (A1側) S=1:10

S=1:10



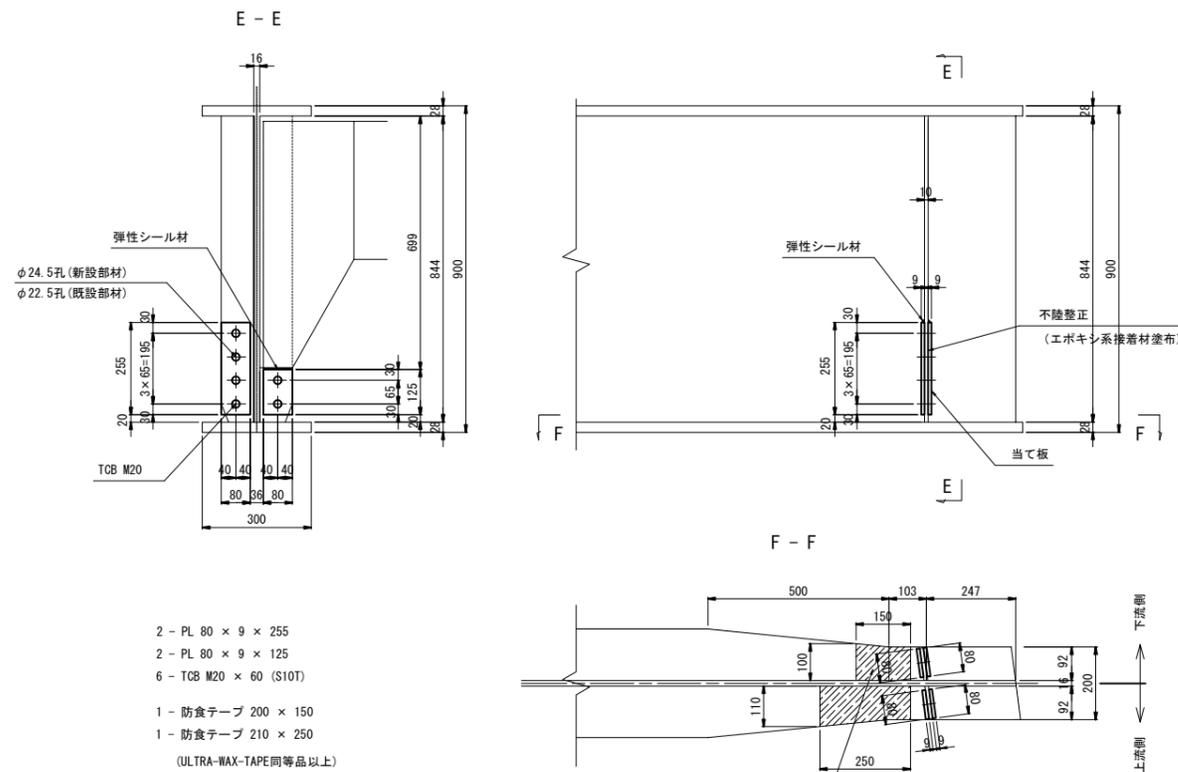
高性能長耐久性防食防水テープ 断面図



1. 施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行ったうえで最終数量を決定すること。
2. 高性能長耐久性防食防水テープはULTRA-WAX-TAPE同等品以上とする。
3. シートの貼り代として50mmを確保すること。

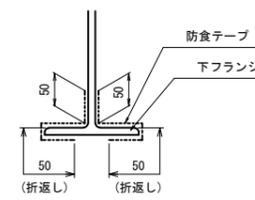
主桁G3 (A2側) S=1:10

S=1:10

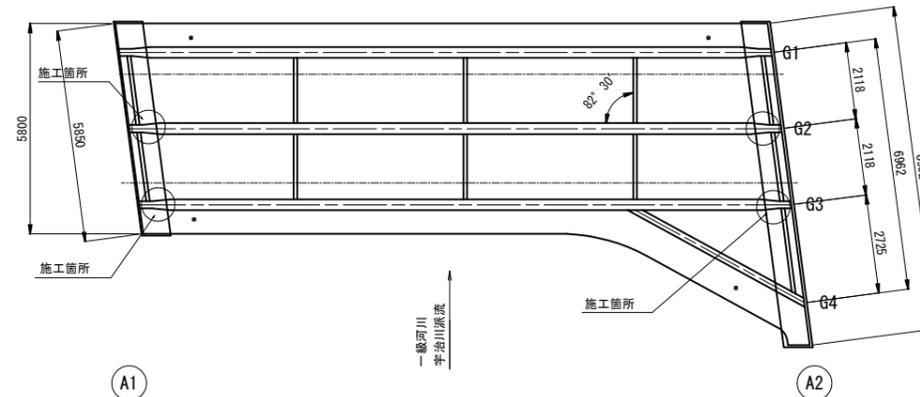


防食テープ貼付け要領図 S=1:5

S=1:5



位置図



注釈

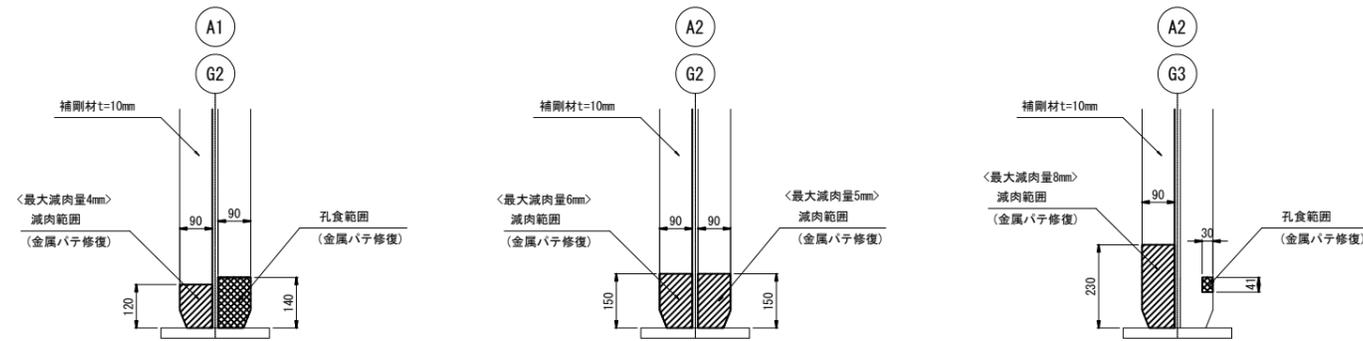
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 鋼材寸法は、現地計測後決定すること。
3. ⊕印は、高力ボルト M20を示し、特記なき孔径は、新設部材φ24.5(工場孔明)、既設部材φ22.5(現場孔明)とする。
4. 補修部材の塗装仕様は、現況と同等以上とし、新設部材より50mm拡大範囲を塗装する。
5. 当て板する既設面は、ケレン後エポキシ系接着材を塗布し不陸修正を行う。
6. 母材の欠損部は、当て板施工前に金属パテにより断面修復を行い、出来るだけ大きな不陸を解消しておく。

工 事 名	西舞屋橋他2橋補修工事		
工 事 場 所	京都市伏見区西舞屋町他地内		
図 面 名	平戸橋 補修詳細図(3)		
事 業 年 度	令和7年度		
縮 尺	図 示	図面番号	21 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

平戸橋 補修詳細図(4)

当て板補修工(2)

金属パテ修復範囲 S=1:10



塗装仕様 F-11塗装系(スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗膜厚 (μm)	塗装間隔
工場製作	素地調整	ブラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内
	防食下地	無機ジンクリッチペイント	600	75
現場	素地調整	動力工具処理 ISO St 3		4時間以内
	下塗り	ミストコート、変性エポキシ樹脂塗料下塗	160	
	下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	1100	300
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30
上塗	ふっ素樹脂塗料用上塗	140	25	1日~10日

鋼道路橋防食便覧 P. II-64

当て板補修工 集計表

内 訳	単位	G2	G3	合計	備 考	
鋼材	PL	kg	6	4	10	SS400
	部材数		8	4	12	
鋼材(TOB)	M20×60	本	8	6	14	S10T
芯出し調整工	2種ケレン粗曲	m2	0.18	0.13	0.31	
鋼桁孔明工	φ22.5	箇所	8	6	14	M20対象
塗装面積	F-11	m2	0.22	0.15	0.37	
不陸修正	修正面積	m2	0.08	0.06	0.14	
	樹脂系接着剤	kg	0.14	0.10	0.24	「シーボ」#101同等品以上 t=1mm
金属パテ補修工	延べ施工量	m2	0.050	0.022	0.072	
	セラミック金属パテ	kg	0.45	0.21	0.66	ラスタップ(E)1110 同等品以上
シール工	弾性シール材	m	1.640	1.080	2.720	
	防食テープ貼付工	m2	-	0.156	0.156	ULTRA-MAX-TAPE 同等品以上

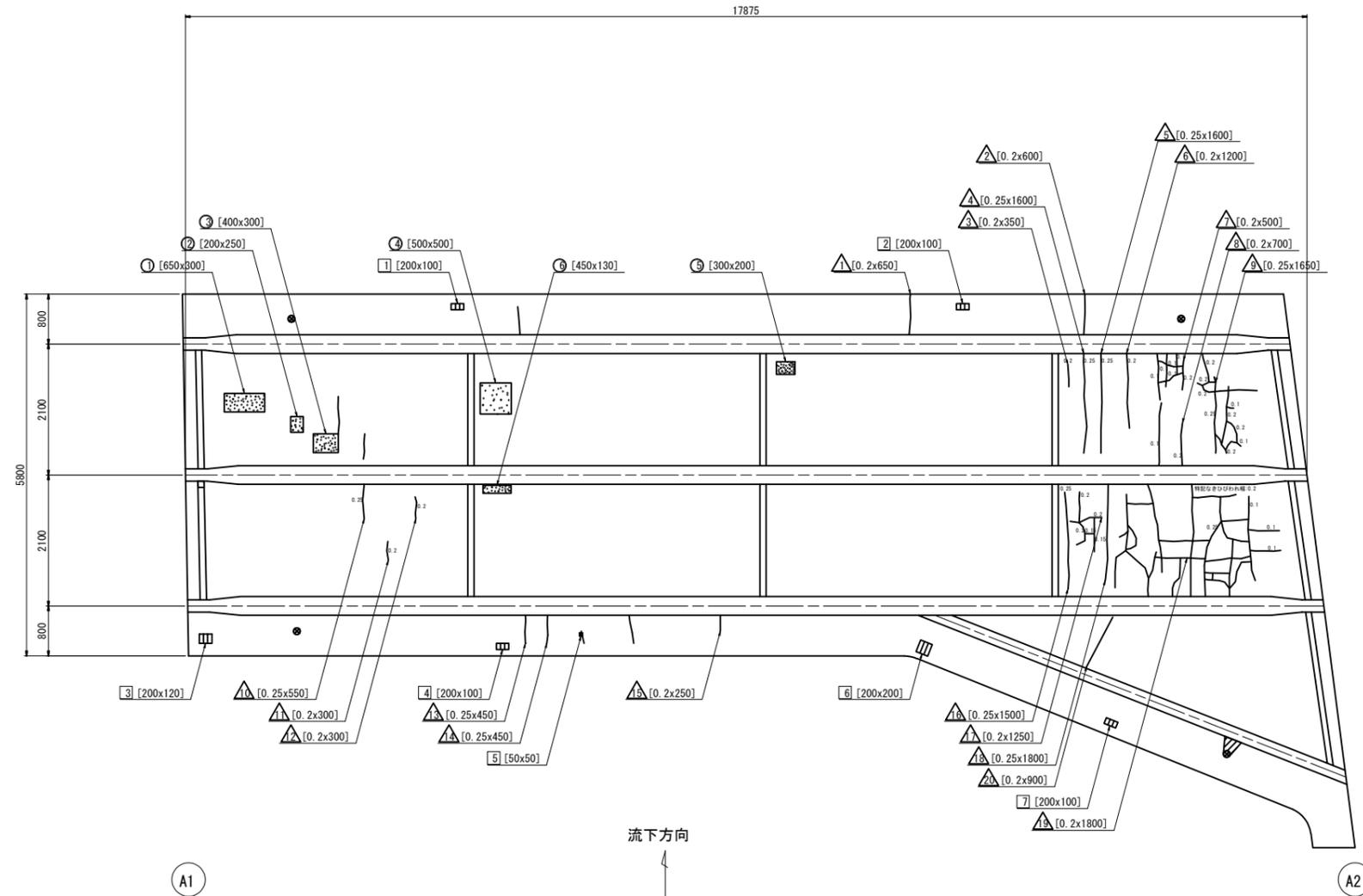
注釈

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 鋼材寸法は、現地計測後決定すること。
- ⊕印は、高力ボルト M20を示し、
特記なき孔径は、新設部材φ24.5(工場孔明)、
既設部材φ22.5(現場孔明)とする。
- 補修部材の塗装仕様は、現況と同等以上とし、新設部材より
50mm拡大範囲を塗装する。
- 当て板する既設面は、ケレン後エポキシ系接着剤を塗布し
不陸修正を行う。
- 母材の欠損部は、当て板施工前に金属パテにより断面修復を
行い、出来るだけ大きな不陸を解消しておく。

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	平戸橋 補修詳細図(4)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	1 / 10	図面番号	22 / 32
京都市建設局土木管理部構りょう健全推進課			

平戸橋 補修詳細図(5) S=1/50

断面修復工・ひび割れ補修工(桁下)



ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)
△1	0.20	0.65
△2	0.20	0.60
△3	0.20	0.35
△4	0.25	1.60
△5	0.25	1.60
△6	0.20	1.20
△7	0.20	0.50
△8	0.20	0.70
△9	0.25	1.65
△10	0.25	0.55
△11	0.20	0.30
△12	0.20	0.30
△13	0.25	0.45
△14	0.25	0.45
△15	0.20	0.25
△16	0.25	1.50
△17	0.20	1.25
△18	0.25	1.80
△19	0.20	1.80
△20	0.20	0.90
合計		18.4

断面修復工(防錆処理有り)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
①	有	0.200	0.100	0.048	0.020	0.0010
②	有	0.200	0.100	0.048	0.020	0.0010
③	有	0.200	0.120	0.048	0.024	0.0012
④	有	0.200	0.100	0.048	0.020	0.0010
⑤	有	0.050	0.050	0.048	0.003	0.0001
⑥	有	0.200	0.200	0.048	0.040	0.0019
⑦	有	0.200	0.100	0.048	0.020	0.0010
合計(防錆処理有)					0.147	0.0072

断面修復工(防錆処理無し)

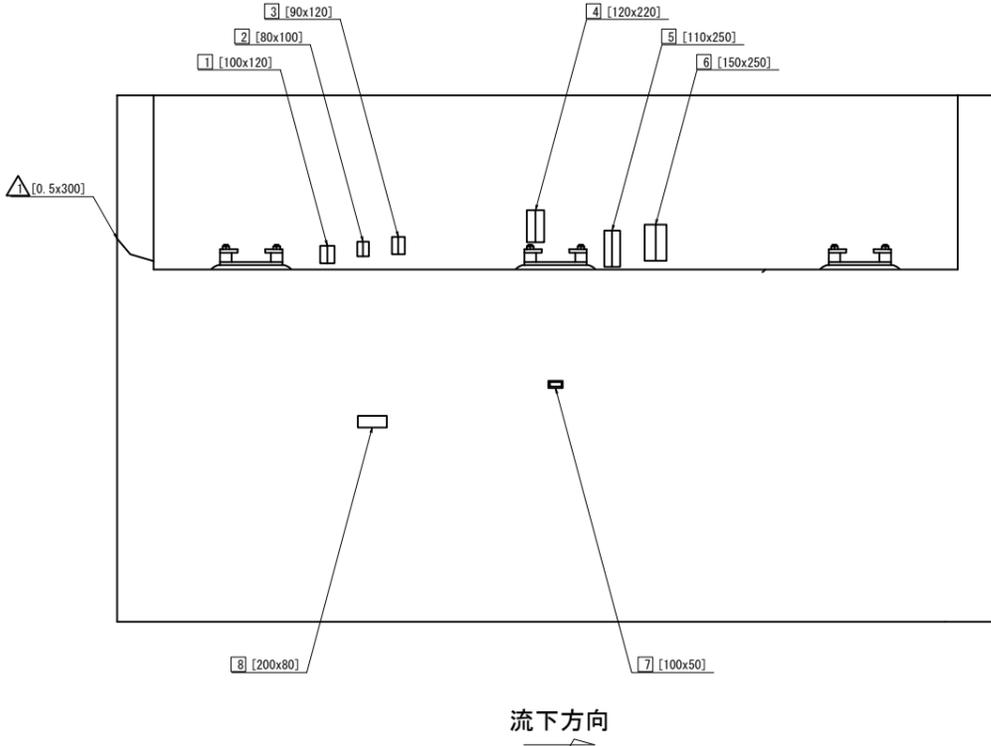
番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
①	無	0.650	0.300	0.030	0.195	0.0059
②	無	0.200	0.250	0.030	0.050	0.0015
③	無	0.400	0.300	0.030	0.120	0.0036
④	無	0.500	0.500	0.030	0.250	0.0075
⑤	無	0.300	0.200	0.030	0.060	0.0018
⑥	無	0.450	0.130	0.030	0.059	0.0018
合計(防錆処理無し)					0.734	0.0221

断面修復工・ひび割れ補修工 合計

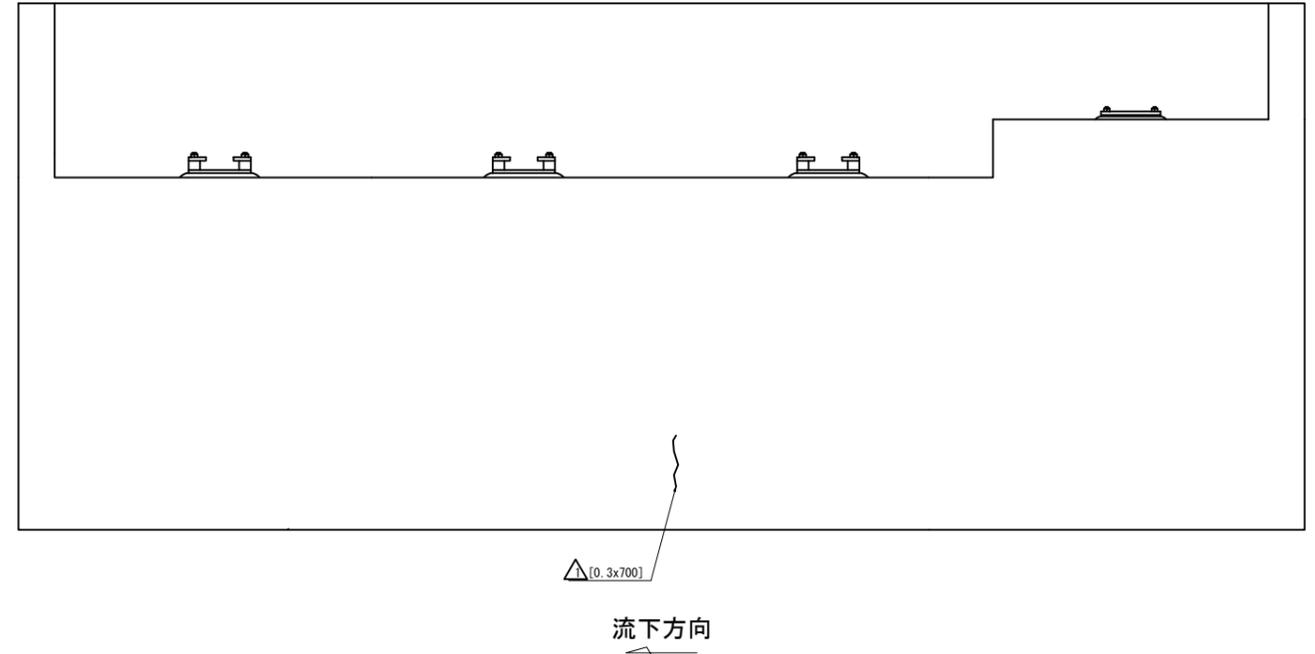
細別	内訳	仕様	単位	数量	備考
ひび割れ補修工 低圧注入工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	18.4	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.124	ロス率(0.15)を含む。
	シール材	エポキシ樹脂パテ	kg	4.692	ロス率を含まない。
	注入器	注入器	個	62	
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0072	
断面修復工 左官工法 (防錆処理無し)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0221	

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	平戸橋 補修詳細図(5)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	1 / 50	図面番号	23 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

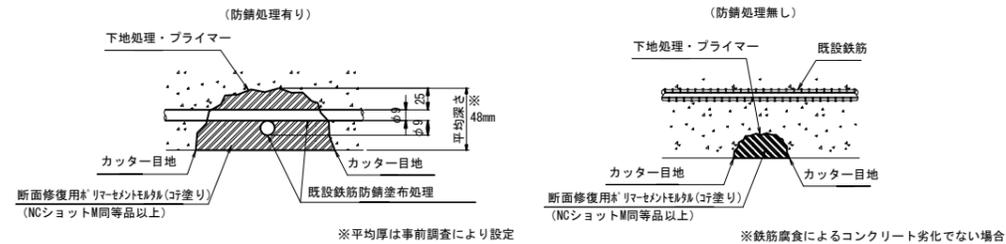
A1橋台



A2橋台



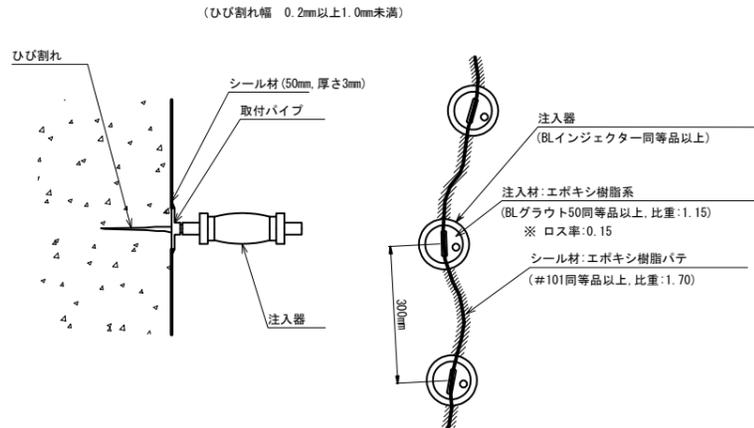
断面修復工詳細図



断面修復工特記事項

1. 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
2. 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
3. 空袋・充袋については、監督職員の了承を得ること。
4. 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

ひび割れ補修工(低圧注入工法)詳細図



ひび割れ補修工(低圧注入工法)(A1橋台)

番号	幅(mm)	長さ(m)
△	0.50	0.3
合計		0.3

断面修復工(A1橋台)(防錆処理有り)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
1	有	0.100	0.120	0.048	0.012	0.0006
2	有	0.080	0.100	0.048	0.008	0.0004
3	有	0.090	0.120	0.048	0.011	0.0005
4	有	0.120	0.220	0.048	0.026	0.0013
5	有	0.110	0.250	0.048	0.028	0.0013
6	有	0.150	0.250	0.048	0.038	0.0018
7	有	0.100	0.050	0.048	0.005	0.0002
8	有	0.200	0.080	0.048	0.016	0.0008
合計(防錆処理有)					0.144	0.0069

ひび割れ補修工(低圧注入工法)(A2橋台)

番号	幅(mm)	長さ(m)
△	0.30	0.7
合計		0.7

断面修復工・ひび割れ補修工 合計

細別	内訳	仕様	単位	数量	備考
ひび割れ補修工 低圧注入工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	1.0	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.019	ロス率(0.15)を含む。
	シール材	エポキシ樹脂パテ	kg	0.256	ロス率を含まない。
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.0069	

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	平戸橋 補修詳細図(6)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	1 / 50	図面番号	24 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

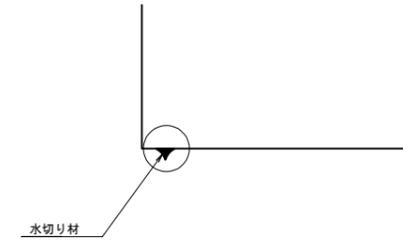
平戸橋 補修詳細図(7)

水切り設置工

桁 下 面 S=1/50

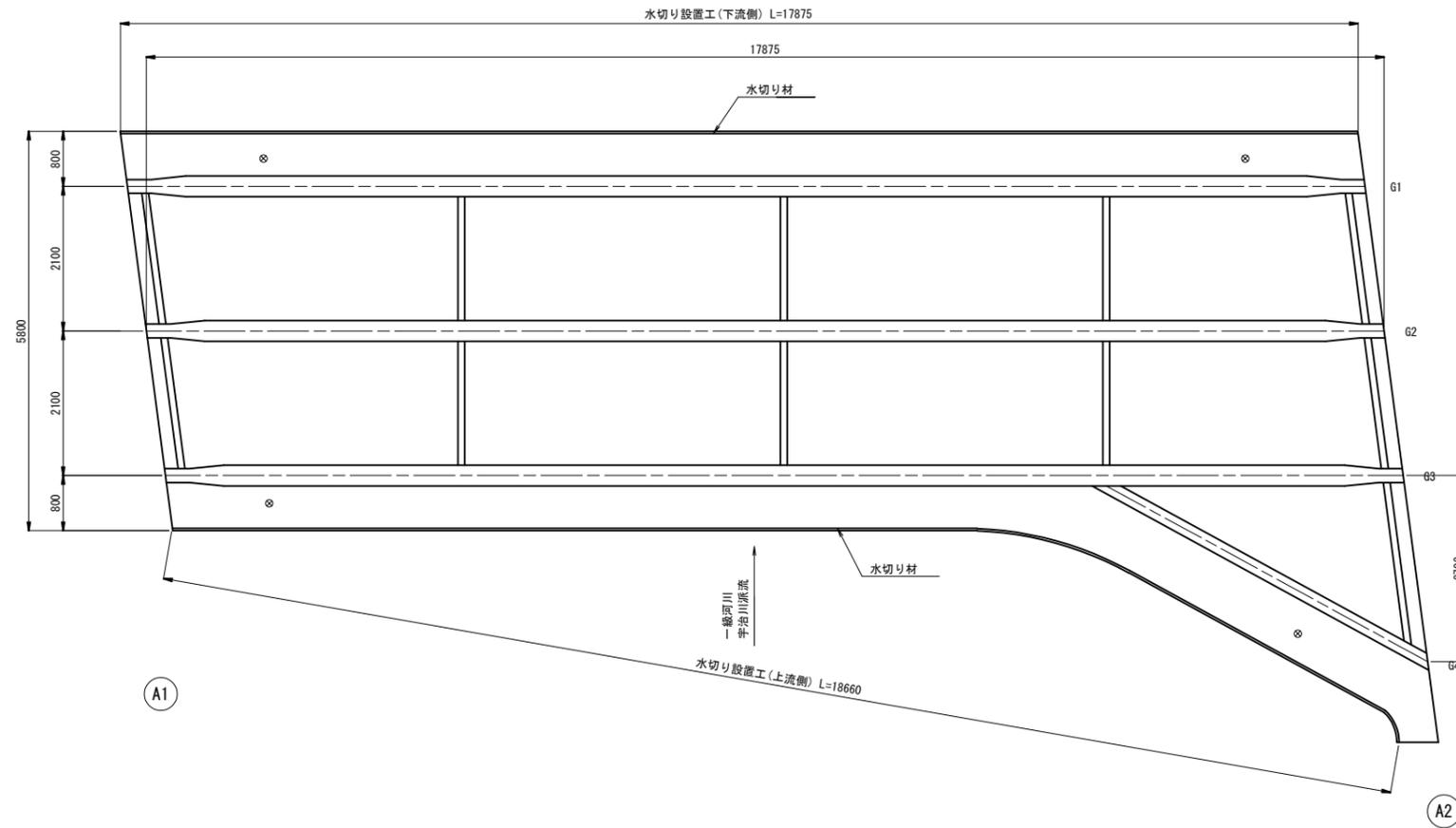
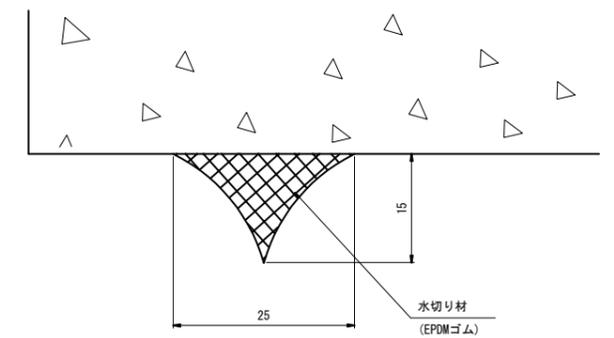
水切り詳細図(1) S=1/5

上・下流側



水切り詳細図(2) S=2/1

上・下流側



水切り設置工数量表

細 別	材 料	規 格	単 位	上流側	下流側	合 計	備 考
水切り設置工	ウォーターカッター 同等品以上	EPDMゴム	m	18,660	17,875	36,535	

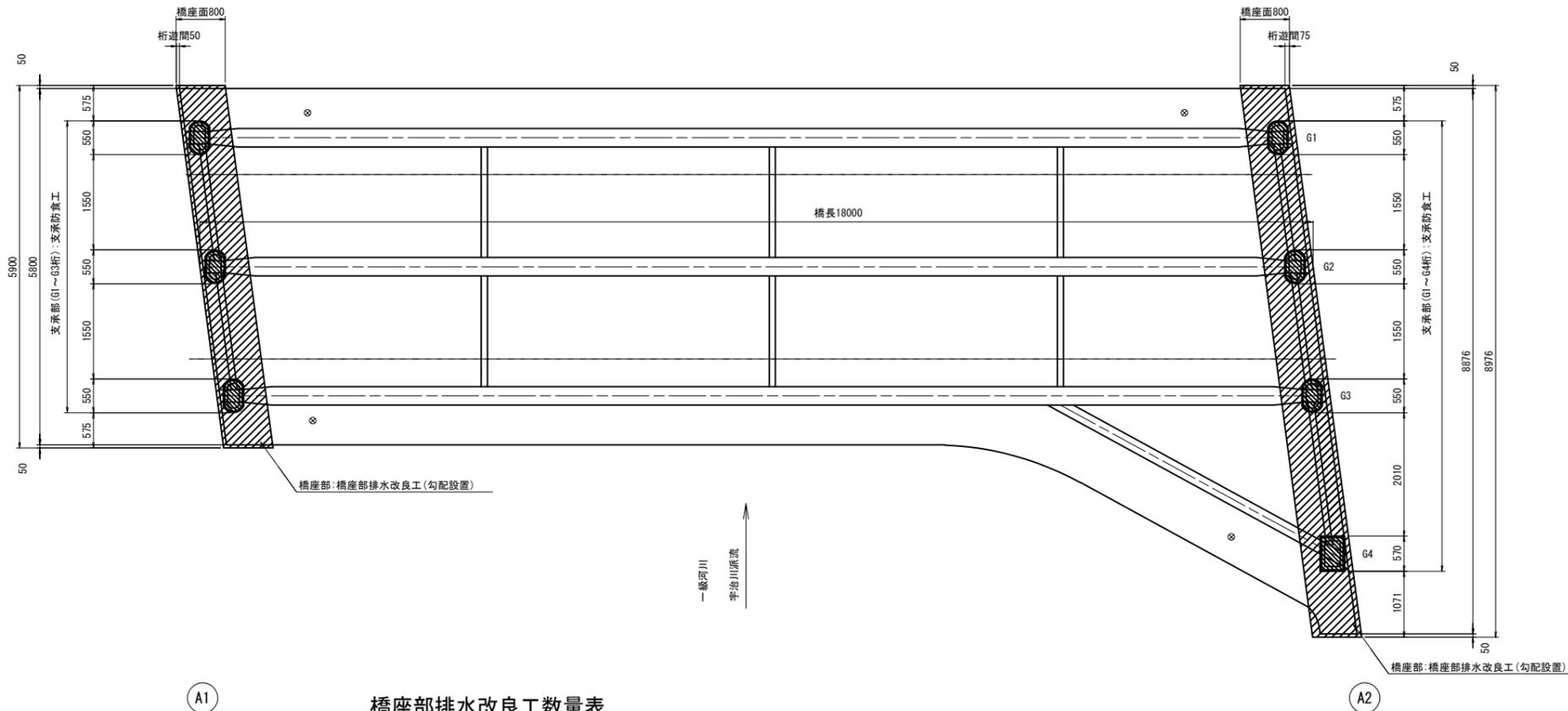
1. 施工数量については現地再確認を行ったうえで監督職員の承諾を得て決定すること。

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	平戸橋 補修詳細図(7)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	25 / 32
京都市建設局土木管理部構りよう健全推進課			

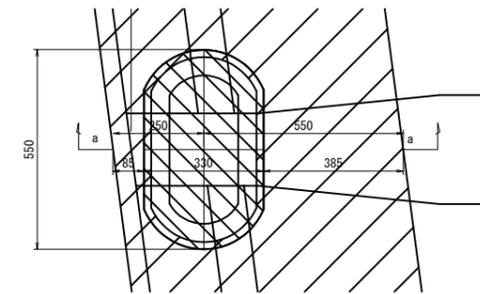
平戸橋 補修詳細図(9)

支承防食工・橋座部排水改良工(1)

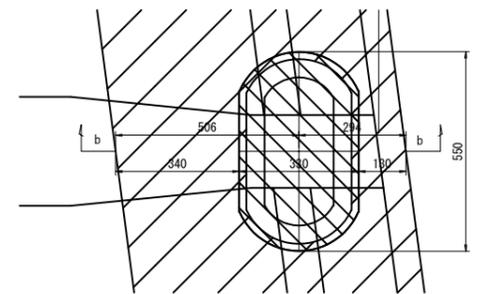
施工位置図 S=1/50



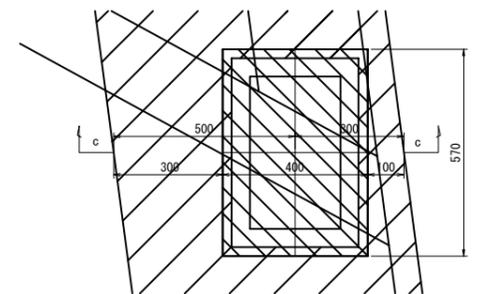
A1側支承周辺拡大図 S=1/10



A2側支承(G1-G3)周辺拡大図 S=1/10



A2側支承(G4)周辺拡大図 S=1/10



A1

橋座部排水改良工数量表

細別	内訳	仕様	単位	数量	備考
橋座部排水改良工	下地処理	チッピング 目粗し程度	m ²	10.70	
	無収縮モルタル パッド用勾配仕上げ	A1側	m ³	0.0759	
		A2側(G1-G3)	m ³	0.1120	
		A2側(G4)	m ³	0.0039	
合計			m ³	0.1918	

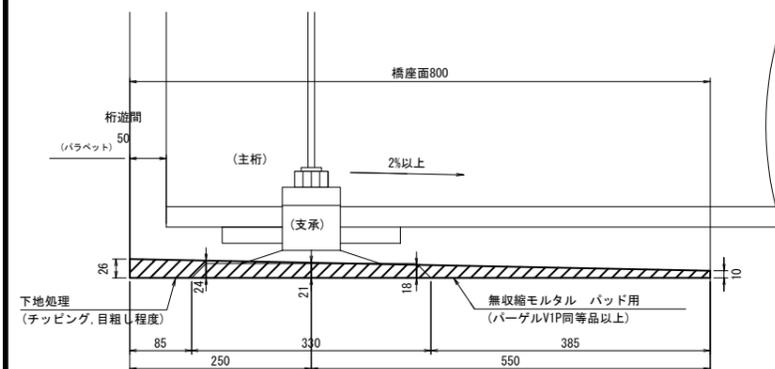
- 施工数量については現地再確認を行ったうえで監督職員の承諾を得て決定すること。
- モルタルは最小厚t=10mmとし、勾配を2%以上確保できるように最大厚を決定すること。

支承防食工数量表

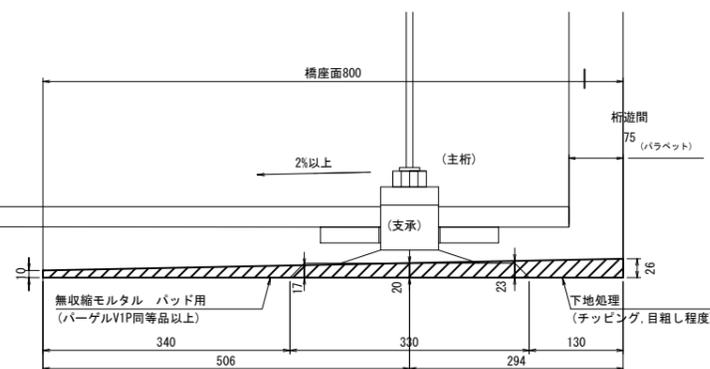
細別	仕様	単位	数量	備考
高機能長耐久性防食防水テープ (ULTRA-WAX-TAPE同等品以上)	A1側	m ²	0.93	
	A2側(G1-G3)	m ²	0.93	
	A2側(G4)	m ²	0.27	
合計		m ²	2.13	

橋座部詳細図 S=1/5

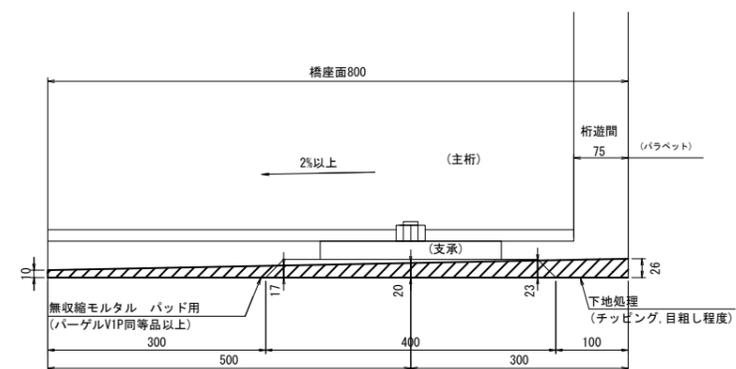
A1側側面図(a-a断面)



A2側側面図(b-b断面)
(G1-G3)



A2側側面図(c-c断面)
(G4)



木工事施工箇所

工事名	西健康橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西健康町他地内		
図面名	平戸橋 補修詳細図(9)		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	27 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

平戸橋 補修詳細図(11)

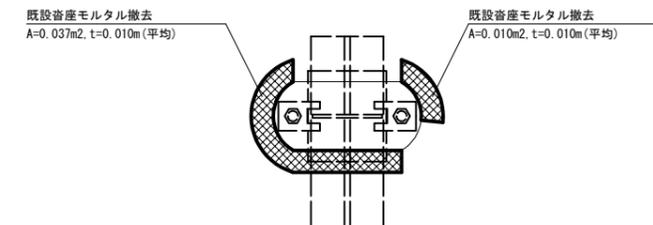
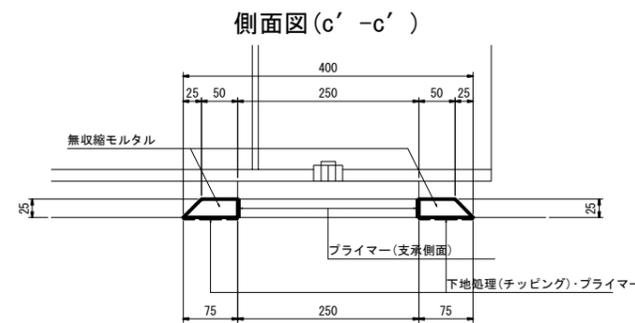
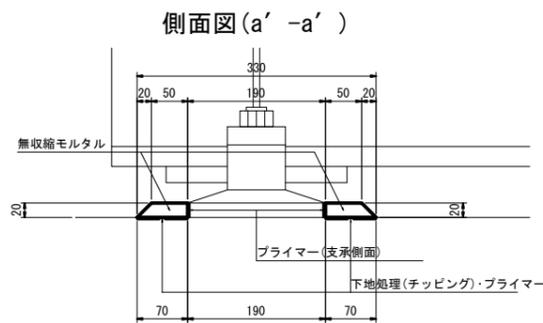
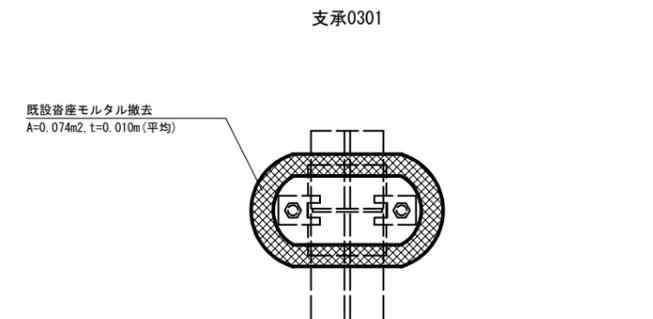
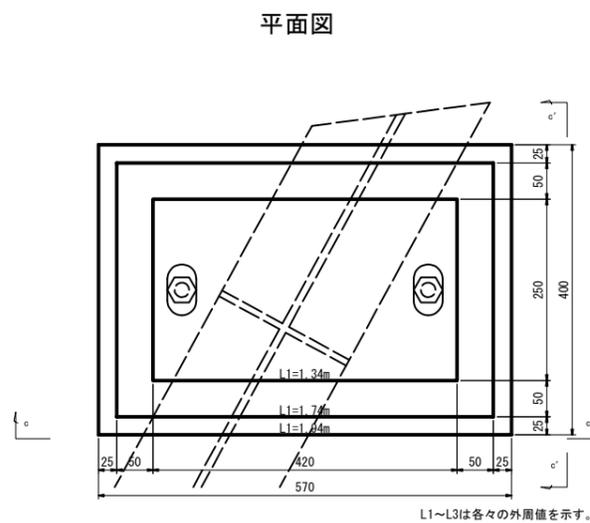
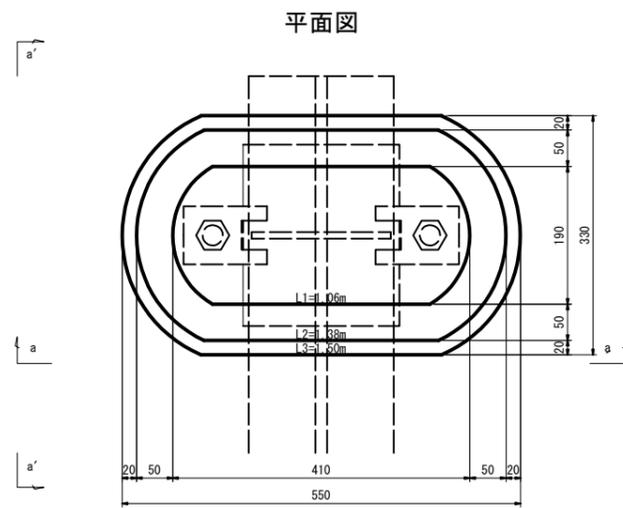
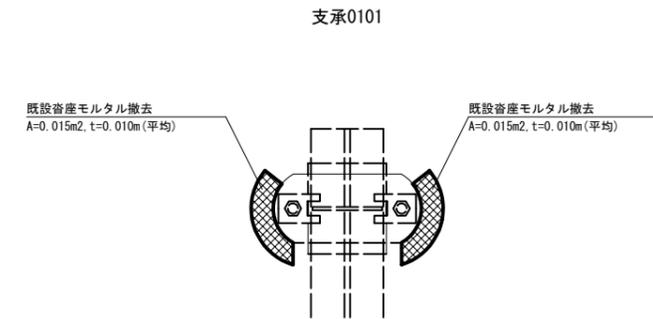
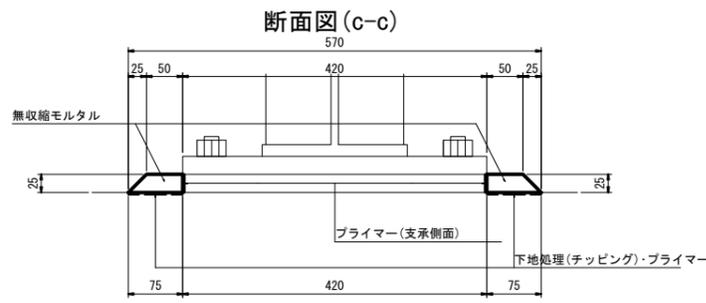
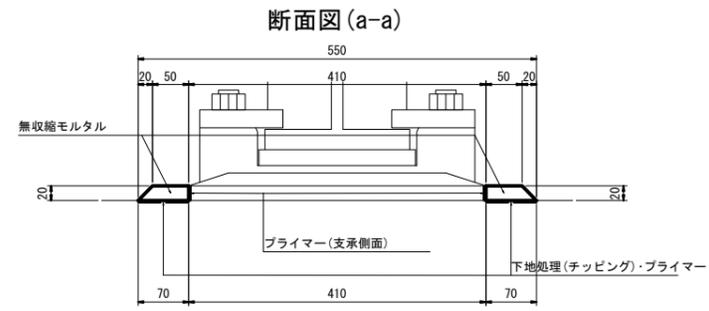
沓座モルタル補修工

沓座モルタル補修図 S=1:5

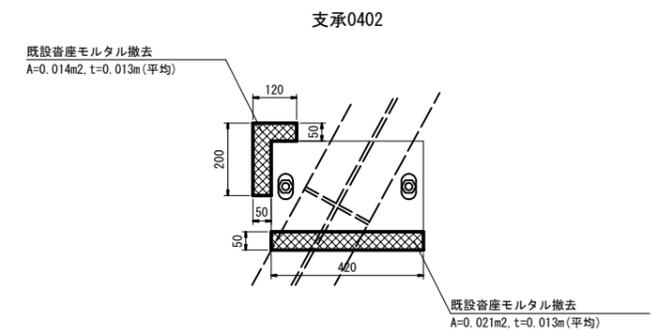
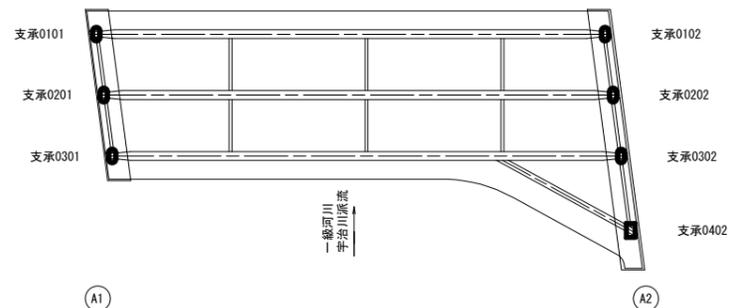
既設沓座モルタル撤去図 S=1:10

<A1・A2 (G1~G3)>

<A2側 (G4)>



位置図



沓座モルタル補修工

種別	細別	内訳	単位	数量
沓座モルタル補修工	既設沓座モルタル撤去		m ³	0.002
	沓座モルタル復旧	下地処理(チッピング)、0.677m ²	m ³	0.012
		プライマー下地処理面(ボンドE200同等品以上)、0.677m ²		
		プライマー支承側面(ボンドE200同等品以上)、0.161m ²		
無収縮モルタル(バーゲルVIP同等品以上)、0.012m ³				

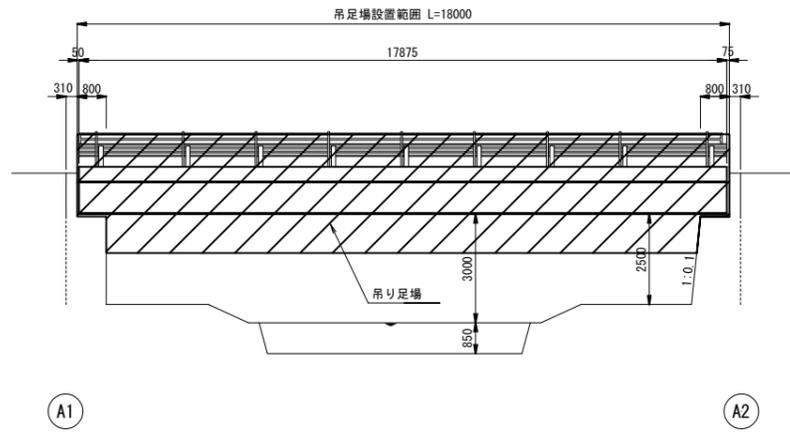
施工にあたっては、事前に現地再確認・再計測を行ったうえで最終数量を決定すること。

本工事施工箇所

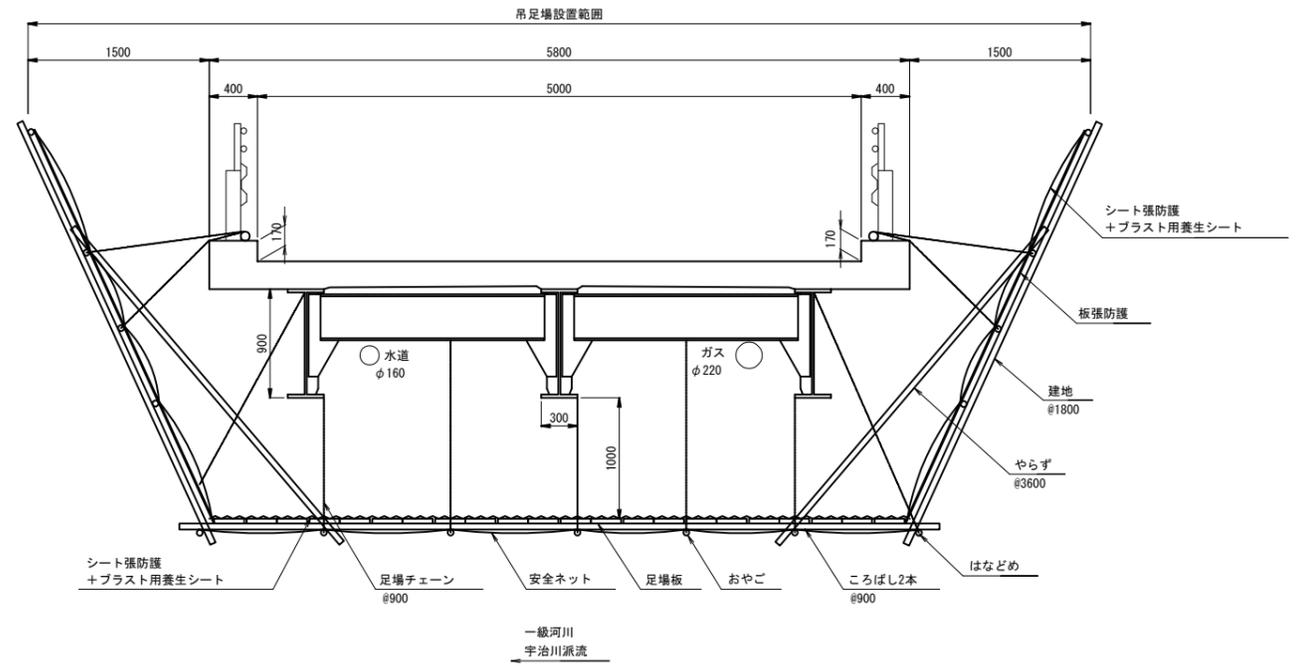
工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内
図面名	平戸橋 補修詳細図(11)
事業年度	令和7年度
縮尺	図示 図面番号 29 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

＜参考図＞平戸橋 吊足場一般図

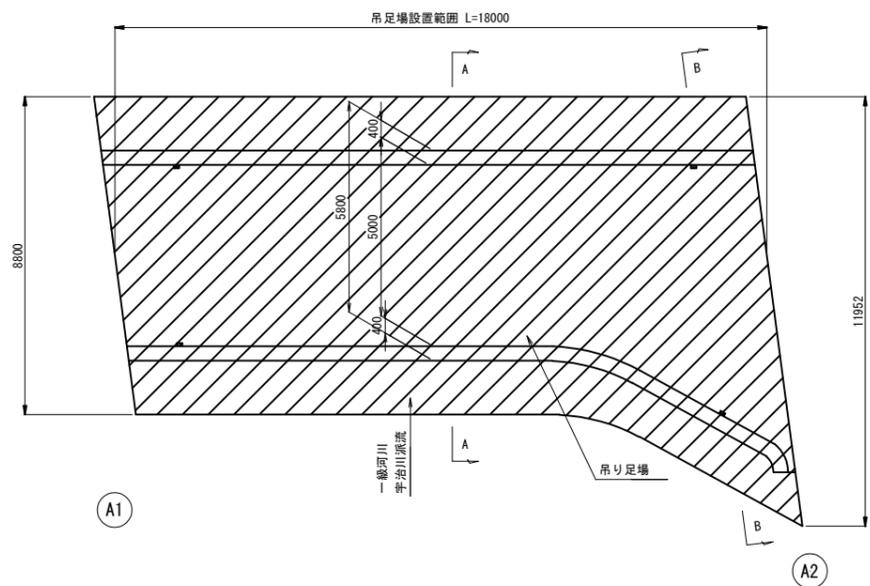
側面図 S=1/100



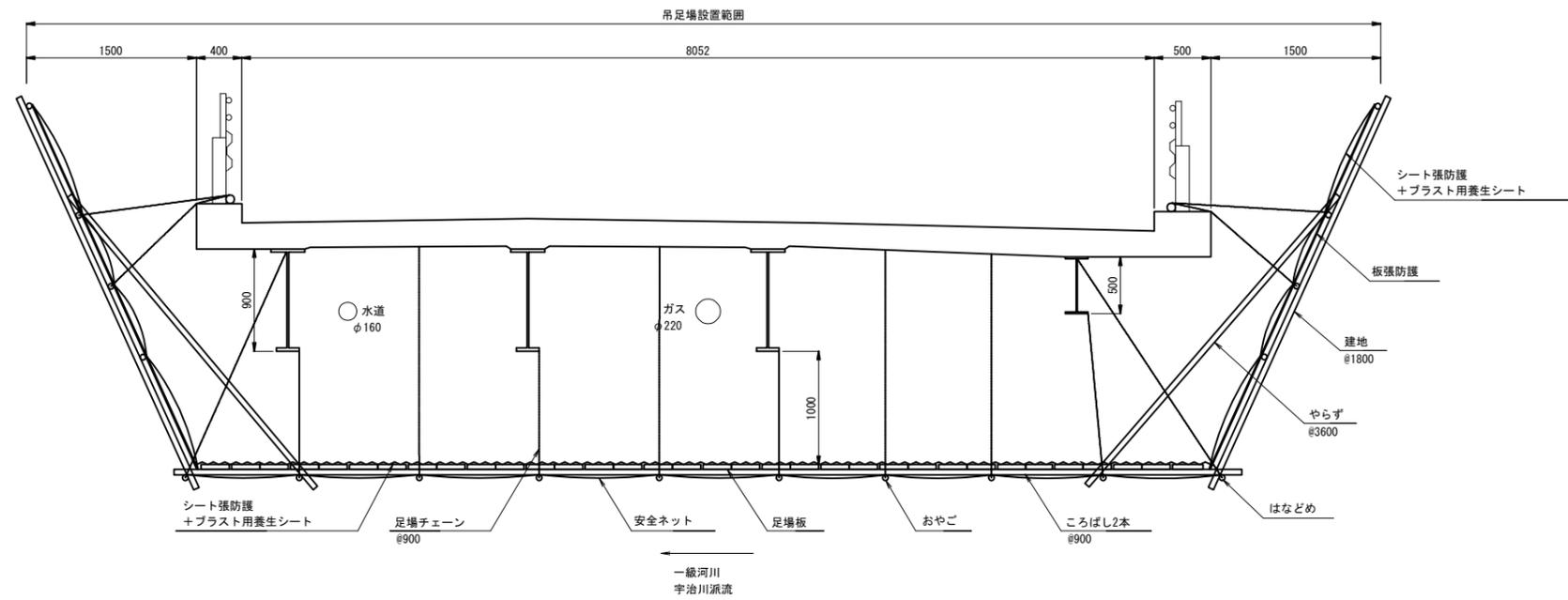
断面図 (A-A) S=1/30



平面図 S=1/100



断面図 (B-B) S=1/30



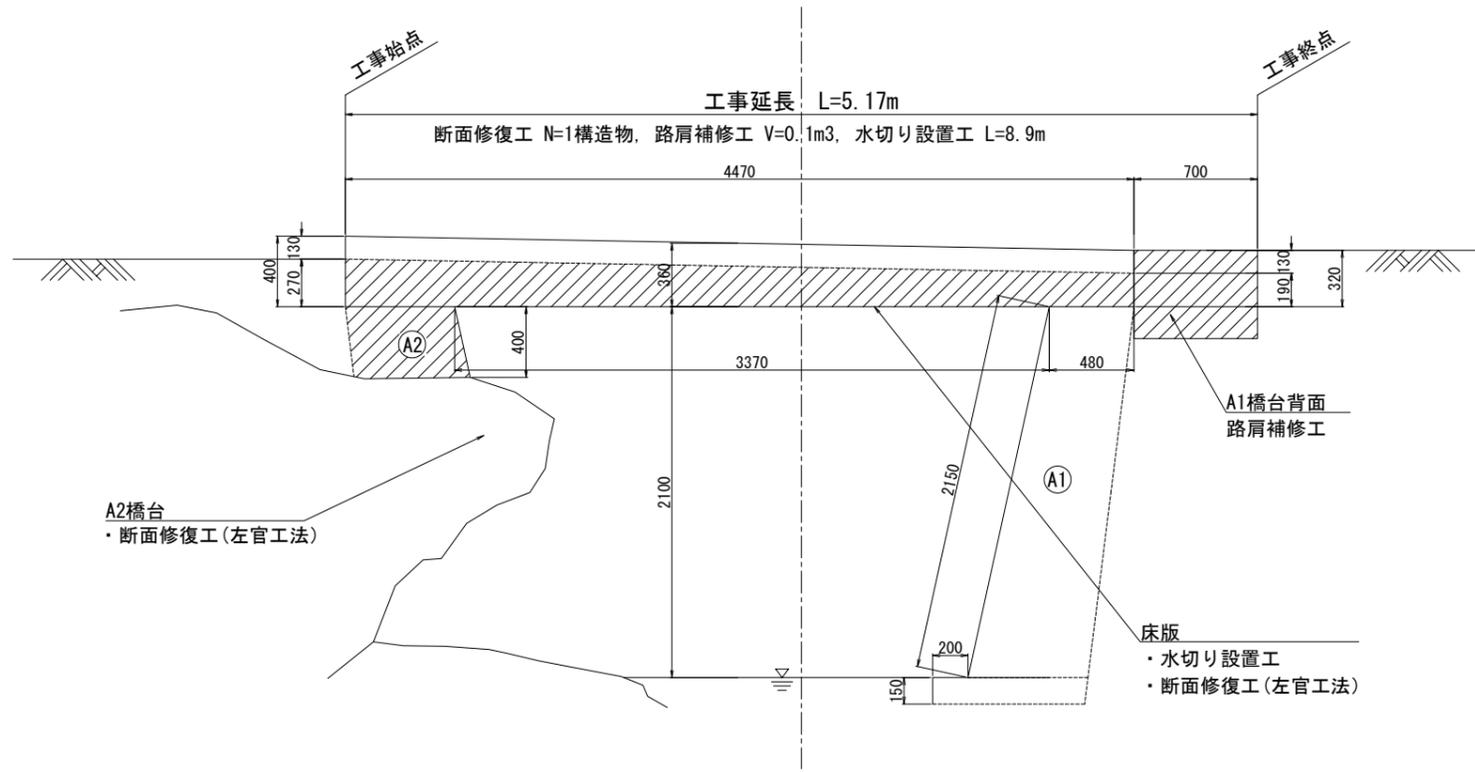
補修用足場工数量表

工種	種別	単位	数量	備考
吊足場	吊足場(タイプA3) 床面シート張防護	m ²	112.6	CAD計測値
	プラスト用養生シート	m ²	112.6	CAD計測値

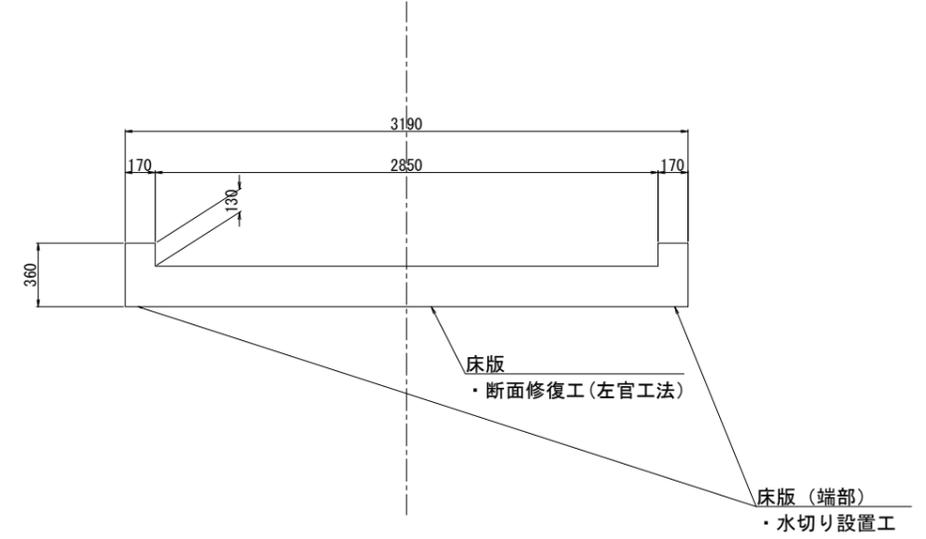
工事名	西健屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西健屋町他地内		
図面名	＜参考図＞平戸橋 吊足場一般図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	30 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

早稲尾橋 補修一般図

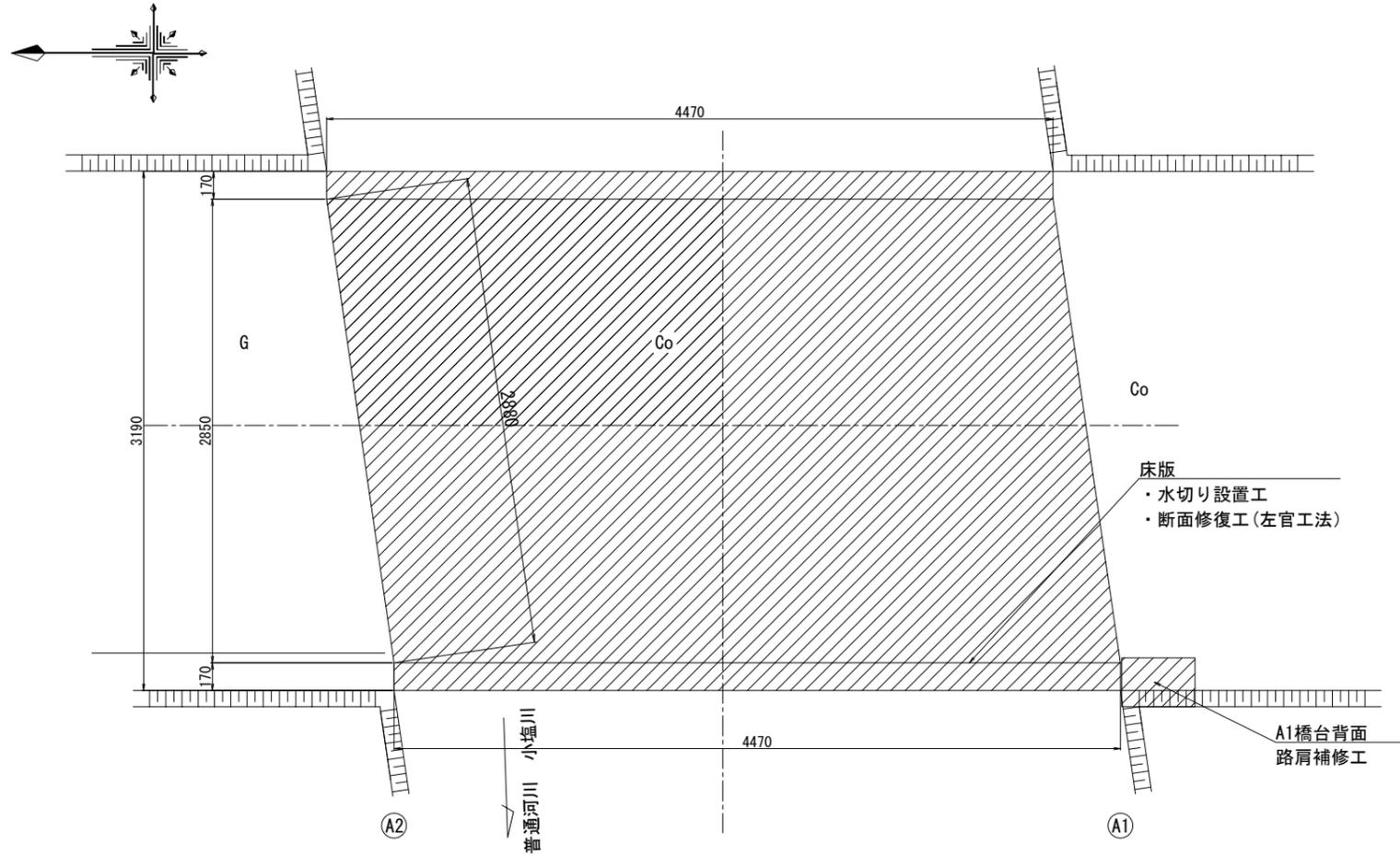
側面図 S=1:20



断面図 S=1:20



桁下面 S=1:20

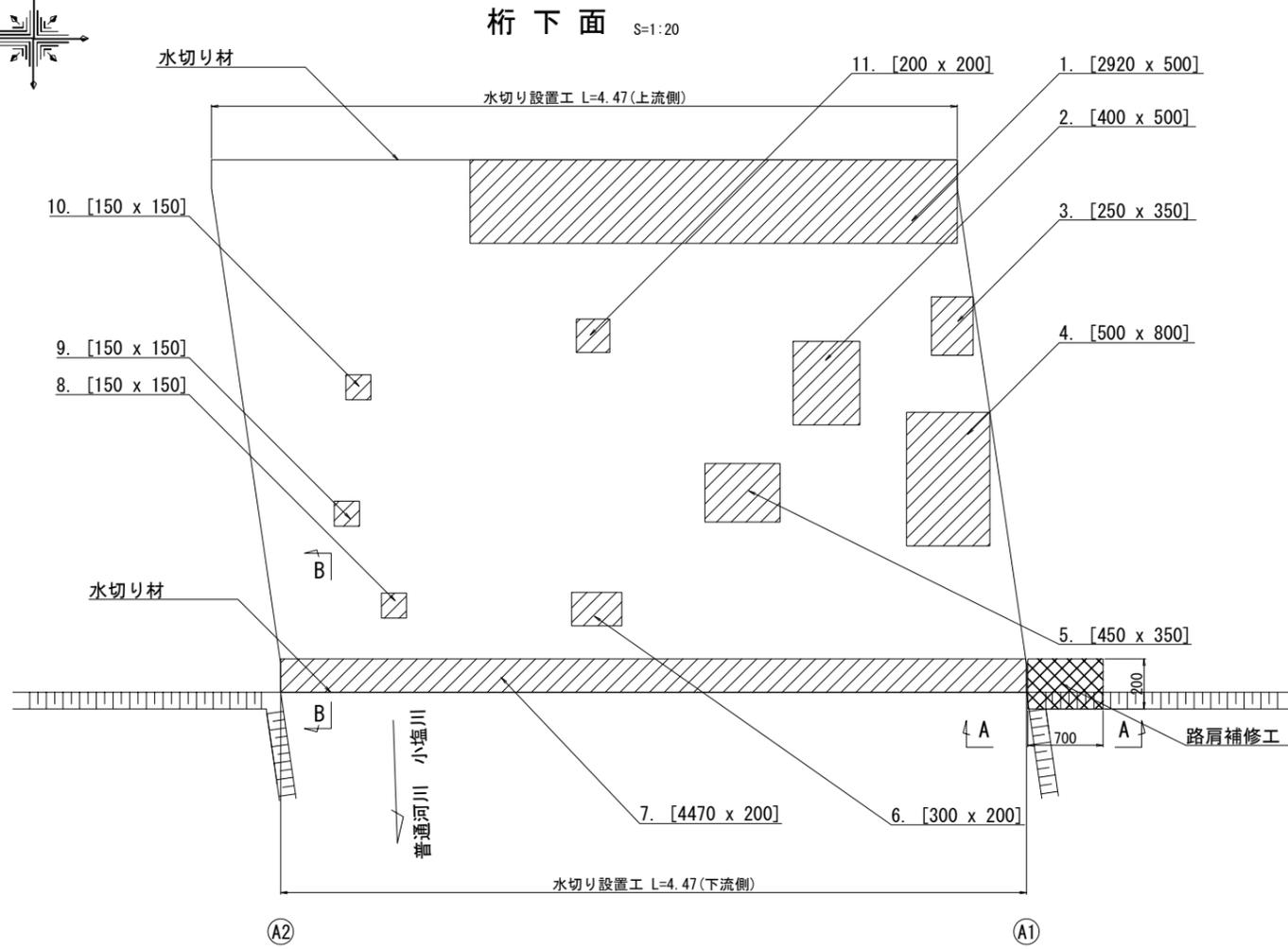
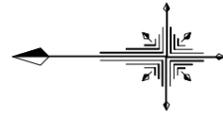


橋梁諸元

橋梁名	早稲尾橋
竣工年	昭和46年(1971年)
路線名	一般市道 大原野12号線
交差物件	普通河川 小塩川
橋長	4.47m
幅員	3.19m
上部工形式	RC 中実床版
下部工形式	橋台: 重力式橋台(A2側は一部天然岩)
基礎工形式	不明

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	早稲尾橋 補修一般図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	1/20	図面番号	31/32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

早稲尾橋 補修詳細図

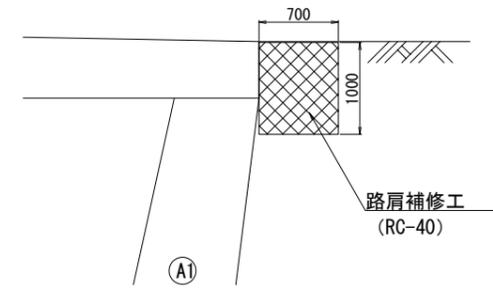


断面補修工数量表 (防錆処理有)

番号	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
1	2.920	0.500	0.048	1.460	0.0701
2	0.400	0.500	0.048	0.200	0.0096
3	0.250	0.350	0.048	0.088	0.0042
4	0.500	0.800	0.048	0.400	0.0192
5	0.450	0.350	0.048	0.158	0.0076
6	0.300	0.200	0.048	0.060	0.0029
7	4.470	0.200	0.048	0.894	0.0429
8	0.150	0.150	0.048	0.023	0.0011
9	0.150	0.150	0.048	0.023	0.0011
10	0.150	0.150	0.048	0.023	0.0011
11	0.200	0.200	0.048	0.040	0.0019
12	0.300	0.300	0.160	0.045	0.0072
合計				3.414	0.1689

※うき、ジャンカ部は鉄筋露出部として計上しているが、現地確認の上損傷が軽微であれば欠損部として補修を行う。

A-A 断面図

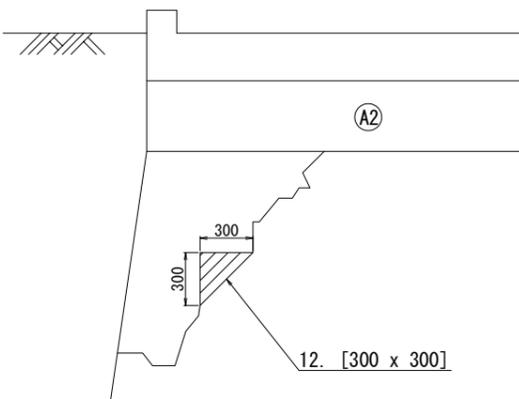


路肩補修工 数量表

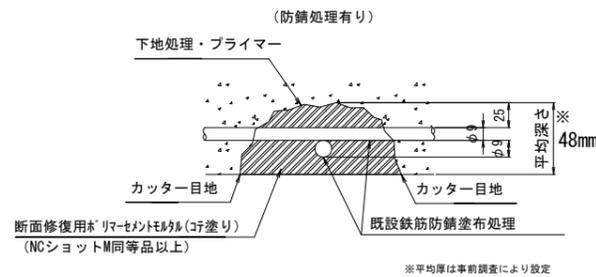
幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
0.700	1.000	0.200	0.700	0.140

特記：施工数量については現地再確認を行ったうえで監督職員の承諾を得て決定すること。

B-B 断面図



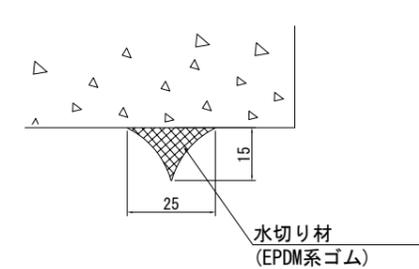
断面修復工詳細図



断面修復工特記事項

1. 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
2. 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地に確認すること。
3. 空袋・充袋については、監督職員の下承を得ること。
4. 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

水切り詳細図 S=2:1



水切り設置工 数量表

細別	材料	規格	単位	上流側	下流側	合計
水切り設置工	ウォーターカッター同等品以上	EPDM系ゴム	m	4.47	4.47	8.94

特記：施工数量については現地再確認を行ったうえで監督職員の承諾を得て決定すること。

工事名	西鍵屋橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市伏見区西鍵屋町他地内		
図面名	早稲尾橋 補修詳細図		
事業年度	令和7年度		
縮尺	図示	図面番号	32 / 32
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			